ヌエバでチャンピオンを目指せ!!

日本リーグ唯一の公式試合球

国際ハンドボール連盟公認球

日本ハンドボール協会検定球

国際ハンドボール連盟公認球
日本ハンドボール協会検定球

32H300W　ヌエバ

●手縫い●天然皮革●３号球●32枚パネル

国際ハンドボール連盟公認球
日本ハンドボール協会検定球

32H200W　ヌエバ

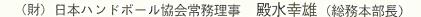
●手縫い●天然皮革●２号球●32枚パネル

molten®

株式会社 モルテン
東京本社　〒130-0003東京都墨田区横川5丁目5-7
大阪・名古屋・広島・福岡・四国・仙台・札幌・リノUSA・デュッセルドルフG

巻頭言

変革の時代に拡大均衡を選ぶために

（財）日本ハンドボール協会常務理事　殿水幸雄（総務本部長）

現在のスポーツ界をとりまく社会的環境・経済的環境の変化は激しく、スピーディーに動いています。この事については多くの人が語り、またこの機関誌でも提言されているので、具体的な変化は省略しておきますが、日本協会の財務の面からこれをとらえれば財源確保の面では日本の経済状況をそのまま反映しており、財務基盤は脆弱なものになってきています。日本ハンドボール協会のここ数年の財務基盤は日本リーグ企業に大きく負っていましたが、近年の不況で日本リーグから撤退する企業も多く現れ、財務基盤をこれ以上日本リーグ企業に求めていくのは困難な状況となってきております。ご承知の通り、昨年度で５チームが日本リーグから撤退しており、今後も不安は、大和銀行も本年度で部活動を停止することを発表しております。

また一方では、少子化、部活動離れで登録チーム数の減、登録人口の減という状況をもたらしております。

主とした財務基盤を登録金においている競技団体としては、これらの要因はますます財政基盤を脆弱な状況に陥れております。

しかし、一方資金支援をしてゆかねばならない日本協会事業はスポーツの多角化に伴うビーチ、車イスハンド等への拡がりと、マスターズ等高齢化対応等々、ますます膨らんでおり、現在の状況では、現在の事業を維持することさえ困難になってきております。ここ数年は、各事業部門においてマイナスシーリングを行っており、このままでは、縮小均衡の道を選択しなければならない状況へ進んでいます。

このような状況の中で、ハンドボールの拡大均衡を目指す為には他力本願から自力再建の道を取らなくては解決の道はありません。それはわれわれハンドボール人の手でハンドボールの発展を支えてゆくしかないのです。幸いにも、昨年度一年間に渡り全国理事会、評議員会で慎重にご審議いただいた結果、運営役員登録、チーム役員登録を導入していただき、新しく協会財源の一部を担っていただきましたことは、大変にありがたいことと考えております。

また、本年度の重点課題に、「がんばれハンドボール１０万人会」の推進があります。これは単に財政基盤の確保ではなく、ハンドボールの活性化につなげようという目標を持っております。日本協会推進本部では、ハンドボールのOB・OGに呼びかけ、また新たなファン層も作り出そうと計画をしております。

全国のハンドボール人の皆様が、愛してやまない気持ちでかかわってきたハンドボールの発展、拡大のために行動し、新たな仲間作りをしていただき、一人でも多くのハンドボールファンの獲得にご協力をお願いする次第です。

第24回日本リーグ開幕!!

日本ハンドボールリーグ
広報企画担当副委員長
川上　憲太

1．シドニーオリンピック　アジア代表決定の年

いよいよシドニーオリンピックアジア代表決定の年度となりました。ナショナル選手のほとんどが所属している日本リーグの試合内容、盛り上がりがアジア代表男女一つずつの激しい切符を手にする礎（いしずえ）となるはずです。皆さん全員で日本リーグへの声援、後押しをお願いします。

2．苦労したスケジュール

第24回大会のスケジュールは女子の世界選手権、シドニーオリンピックアジア予選の日程がなかなか決定せず、スケジュール委員会は20数回の変更を重ねやっとぎりぎりで決定をみました。各関係者に大変ご迷惑をかけ、かつご心配をいただきまして誠に申し訳ございませんでした。したがって、若干変則となってしまいましたが、これも悲願の男女オリンピック出場の為とご理解ご協力をお願いします。

3．日本リーグ正念場の年

昨年23回大会期間中から吹き荒れた、日本経済の不況に伴う各企業チームの相次ぐリタイアは、日本リーグに大きな打撃と問題を提起しました。日本経済の現況は若干の底入れ感は出始めたもののまだまだ激しく、企業としては根本的な改善を余儀なくされています。今後も各チームへの内外の風当たりは厳しいものが続くと考えられ、まさに正念場の年と言えます。しかしながら、ここは全員心を新たにし、日本リーグ発足時の原点を思い起こし、「スポーツの意義」「スポーツの素晴らしさ」をもう一度アピールするべく各チームの一人ひとりが、また関係者が一丸となってリーグを盛り上げ、四半世紀第25回大会の来年につなげていかなければと考えます。

4．リーグ機構の強化

23回大会を最後に長年にわたりリーグにたずさわっていただいた「リーグ運営の神様」稲住副委員長がアドバイサーに退かれた関係から、正念場を乗り切るべく、新たに二口副委員長、野田副委員長、喜井副委員長に副委員長に加わっていただき運営委員の皆様と共に組織の責任分業化を図り、運営の強化に当たっております。

5．日本リーグ開催会場の応援に

昨年のストックラン、ヴォルの加入で沸いた第23回大会も最後のプレーオフでまさに日本ハンドボールの頂点の試合にふさわしい激闘を展開、素晴らしい幕切れとなりました。まだその余韻が残っている中ですでに24回大会序盤のスタートが切られ、各地で好試合が続いておりますが、一段の盛り上がりを見せるためにも皆様の力強い声援が必要です。是非とも試合会場に足を運んでいただき熱い応援をよろしくお願いします。

第24回日本リーグ序盤戦を振り返って

男子の部

日本ハンドボールリーグ運営委員
高田　浩志

6月25日に第24回日本ハンドボールリーグが開幕致しました。

今大会は来年行われるオリンピック予選等のからみもあり男子1部については変動的な日程のシーズンとなりました。6月29日、西日本を中心に襲った大雨の影響もなく無事に序盤戦を終了致しました。今後、約2ケ月の休みをはさみ、9月11日より再スタート致します。序盤戦の各チームの戦い振りを振り返ってみたいと思います。

《男子1部》

今リーグは、昨シーズンまでトップ争いを演じてきた中村荷役、日新製鋼の両チームの姿を見る事のできない残念なシーズン開幕となったが、2シーズン目を迎えたヴォル、ストックラン、さらに昨シーズン優勝で自信をつけたセンター加藤ら率いる本田技研の存在感は大きい。しかし、守護神橋本、左腕ヒッターの茅場をドイツリーグに転出させてのシーズンだけに余計、戦いぶりが注目された。第3週を終えた時点で、総得点リーグ108点（2位）、総失点57点（1位）と爆発的な攻撃力にあわせ、4試合全て15失点以内に押え込む守備力で4戦全勝、連覇に向けて確実に歩を進めている。

昨シーズン2位で新監督末岡率いる大同特殊鋼も、昨年シュート3冠王の朴、ロングヒッター林、冨本、ポスト藤井と昨年同様の陣容で臨み、総得点114点（リーグ1位）をたたき出し、総失点も69点（リーグ2位）と本田技研に一歩もひけをとらぬ安定した戦い振りで、4戦全勝で終えている。

2年ぶりの王座奪回を狙う湧永製薬は、開幕から3連勝と好スタート。しかし第3週、開幕1分2敗と出遅れた三陽商会に手痛い黒星を喫し3勝1敗、勝点6で終了した。全般的に後半、やや集中力に欠けたような試合展開が気になるところである。

これら上位陣を追いかけるのは今年１部昇格の本田技研熊本、本田技研より移籍のジザの活躍などで、１勝１敗２分、勝点４で４位の位置につけている。１勝２敗１分と出遅れてしまった三陽商会だが、本来の調子を取り戻せば、田中茂、岩本、中川ら実力選手の揃うチームだけに今後の躍進に期待できる。また、本田技研熊本同様、今年から１部に返り咲いたデンソーは、まだ勝ち星はあげていないが大崎オーソル、本田技研熊本に引き分け勝点２をあげている。また、オールラウンドに活躍する武田が得点ランキング２位につけるなど上昇ムードを漂わせている。

大崎オーソルは首藤、魚住の２枚看板の抜けた穴を埋め切れずに苦しい試合を続けているが、全員攻撃と豊富な運動量をベースにした果敢な守りが機能すればこれからの巻き返しに期待がかかる。

残念なのは、未だ勝ち星に恵まれないトヨタ車体。１部リーグ２シーズン目をむかえ、また４月に行われた実業団選手権で４位と好成績をあげるなど確実に力をつけているチームだけに今後に期待したい。

第３週終了時点で各チーム４試合を消化、上位と下位がくっきりとグループ分けされた格好で序盤戦を終了した。

《男子２部》

２部男子は５チーム２回総当たりでリーグ順位を争い、来年３月18、19日に入れ替え戦を行う。

前回の戦績からトクヤマ、アラコ九州の優勝争いが予想される。

大阪ガスvs北陸電力、アラコ九州vsトクヤマの２試合が行われ、北陸電力、アラコ九州がそれぞれ勝ち、勝点１をおさめている。

女子の部

日本ハンドボールリーグ運営委員
日野田 征佑

１部12チーム制としてスタートした女子は、６月25日㈮の広島・東区スポーツセンターでの日立栃木vsブラザー工業戦を初戦に、７月４日㈰の富山・三協アルミスポーツセンターでの立山アルミvs日立栃木戦まで順調に各チームとも４試合を消化した。

序盤戦を終えて、トップグループは開幕時の予想通り４連勝のオムロン、北国銀行、イズミが形成している。一昨

年優勝のオムロンは宮本、田口、隅の新フロータートリオ、両サイドの川崎、林を軸とする若い布陣で臨み、昨年の２部４チームを危なげなく連破した。悲願のリーグ初優勝を狙う北国銀行は上出、田中美、田中由、小松、中村、GK沖園とずらりと並ぶ実力派の活躍で順当に勝ち進んでいる。昨年優勝のイズミも監督兼任の林五卿、エース呉成玉の巧技、強打、青戸のスピードプレーなどで優勝候補１番手の実力を見せている。

４位には今年一杯でリーグ撤退を表明している大和銀行が続いている。果敢な攻撃で立山アルミ、シャトレーゼを連破し、俄然その戦い振りが注目された大和銀行は続くOSAKI OSOLをも撃破、第４戦の女王イズミとの全勝対決では苦杯を喫したものの依然台風の目となっている。

５位グループは２勝２敗のブラザー工業、立山アルミ、日立栃木が形成している。前回２部リーグを無敗で駆け抜けたブラザー工業の菅谷姉妹、白崎、羽出重ら若いパワーの善戦が目を引く。立山アルミは大和銀行に痛い星を落としたが、崔鳳水、劉晋淑の韓国コンビを中心にスピーディーな展開をしている。日立栃木は沖土居、松本らベテラン勢の活躍が光る。

８位には４月の実業団選手権準優勝のOSAKI OSOL、９位に新監督を迎えたソニー国分、10位にデンマークコンビの加わったシャトレーゼが続く。シャトレーゼはデンマークコンビの未調整で１分３敗の苦しい序盤戦となったが、調整が進むにつれ上位陣にとってもこわい存在になりそうだ。

伝統チームのジャスコ、ランクアップをめざすムネカタは未だ勝ち星がなく苦戦を強いられている。今後の巻き返しを期待したい。

以上、上位と下位がグループ分けされた格好の女子リーグは９月11日から再スタートし、10月10日までの短期間で各チーム残り７試合を戦う。終盤戦にかけて上位グループがぶつかり、来年３月19、20日のプレーオフ出場権をめぐって激しい戦いが予想される。

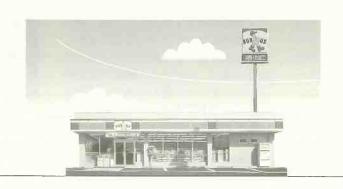
第24回日本ハンドボールリーグ成績表

第3週終了（7月7日）現在

順位	[1部男子]	本田	大同	湧永	本熊	三陽	デンソー	OSAKI	車体	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	本田技研				34○	30○		21○	23○	4	4	0	0	8	108	57	51
2	大同特殊鋼					25○	35○	29○	25○	4	4	0	0	8	114	69	45
3	湧永製薬					14●	44○	21○	26○	4	3	0	1	6	105	66	39
4	本田技研熊本	13●				22△	26△		25○	4	1	2	1	4	86	102	-16
5	三陽商会	16●	19●	17○	22△					4	1	1	2	3	74	91	-17
6	デンソー		21●	22●	26△			25△		4	0	2	2	2	94	130	-36
7	OSAKI OSOL	12●	14●	14●			25△			4	0	1	3	1	65	96	-31
8	トヨタ車体	16●	15●	13●	20●					4	0	0	4	0	64	99	-35

順位	[1部女子]	オムロン	北國	イズミ	大和	ブラザー	立山	日立	OSAKI	ソニー	シャトレ	ジャスコ	ムネカタ	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン					17○				36○		29○	41○	4	4	0	0	8	123	37	86
2	北國銀行									34○	29○	23○	50○	4	4	0	0	8	136	54	82
3	イズミ				33○	26○	33○					28○		4	4	0	0	8	120	89	31
4	大和銀行			27●			33○		31○		25○			4	3	0	1	6	116	113	3
5	ブラザー工業	11●		22●				24○		18○				4	2	0	2	4	75	74	1
6	立山アルミ			29●	30●			31○	29○					4	2	0	2	4	119	118	1
7	日立栃木					16●	24●				30○	28○		4	2	0	2	4	98	93	5
8	OSAKI OSOL				28●		28●				27△		32○	4	1	1	2	3	115	100	15
9	ソニー国分	11●	12●			15●							38○	4	1	0	3	2	76	101	-25
10	シャトレーゼ		23●		22●			24●	27△					4	0	1	3	1	96	111	-15
11	ジャスコ	10●	13●	11●				14●						4	0	0	4	0	48	108	-60
12	ムネカタ	5●	6●						13●	13●				4	0	0	4	0	37	161	-124

順位	[2部男子]	アラコ九州	北陸電力	トヨタ自動車	大阪ガス	トクヤマ	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	アラコ九州					26○	1	1	0	0	2	26	18	8
2	北陸電力				29○		1	1	0	0	2	29	23	6
3	トヨタ自動車						0	0	0	0	0	0	0	0
4	大阪ガス		23●				1	0	0	1	0	23	29	−6
5	トクヤマ	18●					1	0	0	1	0	18	26	−8

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。
同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点　の多い順で順位付けしています。

第16回男子世界ハンドボール選手権 エジプト大会の視察報告

国際委員会　喜井美雄

第16回男子世界ハンドボール選手権エジプト大会は、前回熊本の雪辱を果たした、スウェーデンの優勝で幕を閉じた。

［大会期間・場所］

6月1日～15日、エジプトのカイロ市を中心に3都市で、予選リーグから決勝トーナメントの80試合の熱戦が行われた。私は、最後2日間メインホールの1位～8位の4試合を観戦した。

［会場・観客・コンディション］

メインホールは、人口1400万大都市カイロの中心のスポーツ施設が集まった3万人が収容できるすり鉢状体育館で、直径50メートル円形のフロアーを使用し試合が行われた。外気温は、日中30～35度、夜でもあまり変わらないが、体育館の中は冷房が効きすぎるぐらい寒かった。そのため、選手はコンディションを調整するのに大変苦労したようである。

観客の数と応援は、熊本大会を参考に地元の学生を中心に動員がかけられ、応援も各国に割り当てが決まっていた。ただし、地元エジプトの出場する試合は、全観客がエジプトの応援で、特に勝ち進む試合では、満員の観客の中、エジプトの声援で隣の声が聞こえないくらい、体育館が壊れそうなくらい熱狂的であった。

また、特記する事項としては、相変わらず北欧の応援団の多さと熱狂ぶり、ロシア人の応援団がたくさんいたこと、地元観客がロシアに対して応援していたことである。

［大会運営］

初めてアフリカでこの大会が開催されるということで、国の威信をかけて準備・協力体制・運営されていた。しかし、前回の熊本大会が完璧であったため、ADカードの紛失・ADカードの再発行・試合結果報道の遅れ・チケットの不足等、問題がたくさんあり各国関係者も不満をもらしていたようである。

警備は、欧米人テロ対策、ユーゴ・コソボ紛争のアラブ諸国の反感、開会式と閉会式にムバラク大統領が参列したこともあり、大変厳重であった。感心した事は、ムバラク大統領が試合終了しセレモニーが終わるまで、席を立たずにいた事である。

［試合観戦］

〈7・8位決定戦〉

・エジプト対キューバ

地元エジプトが応援の後押しと実力で、体力・運動能力だけの雑なキューバに快勝し、シドニーオリンピックの切符をつかんだ。

〈5・6位決定戦〉

・ドイツ対フランス

ほとんどがドイツブンデスリーグで、試合する選手で構成している事で、プレーをお互いに良く知っており、淡々と試合が進んだ。ドイツの勝つ意識が強かったことが結果に出た。

〈3・4位決定戦〉

・ユーゴ対スペイン

ユーゴは、コソボ紛争の影響であまりまとまった練習ができていないと思っていたが、大変まとまったバランスのとれたチームであり、前々日のロシア戦で惜しくも敗れたスペインに接戦から抜け出し、銅メダルを獲得した。

〈決勝戦〉

・スウェーデン対ロシア

決勝戦は、前回熊本の再現で、ロシアの決勝までの戦いぶり、前大会の優勝メンバーに課題の左腕エース、ツチキンの復帰加入、ゴールキーパー・ラフロフの安定、ベテランと若手のバランスのとれた選手構成、一方スウェーデンの決勝までの戦いぶり、ここ10年間の主力メンバーが中心で正確性はあるが優勝するだけの爆発力の不足から、前評判はロシアの絶対有利であった。しかし、試合は前半からロシアがリードするものの一進一退の攻防が続いた。後半5分、スウェーデンは、攻守の要ビスランデルが失格になり、熊本のS

・オルソンの再現かと思われたが、逆にディフェンスではS・オルソンの頑張り、オフェンスでは左利きサイド・トーソンが確実に得点するなどで逆転しスウェーデンが勝利をもぎ取った。

最後に、優勝したスウェーデン・2位ロシア・3位ユーゴ・スペイン・フランスなどのトップチームは、選手層の厚さ・正確な上に基礎体力を土台とした技術・個性を持ったプレーなど日本選手にも身につけさせないといけないと感じた。

また、他の国の試合を観に来ているのではなく、日本がこの舞台に立ち闘い・この雰囲気・この興奮・この感動を再び味わい、そして、日本のハンドボール界の夢であり、願望であり、絶対に実現しなければならないこと、「表彰台に乗るためにどんなことでもするぞ、どんな働きかけもするぞ」と肝に銘じた次第です。

第3回日韓親善ハンドボール交流女子大会
日台親善ハンドボール交流男子大会

▼1999年全日本女子U−16韓国遠征名簿 ——遠征8月14〜19日　受入8月25日〜30日

団　長	大原康昇	おおはら　やすのり	国立明石高等専門学校
副団長	真田　元	さなだ　げん	(財)日本ハンドボール協会強化委員
監　督	高野郁代	たかの　いくよ	明倫中学校
コーチ	池本　聡	いけもと　ふさし	(財)日本ハンドボール協会強化委員
〃	石塚廣一	いしづか　こういち	吉川中央中学校

選手	氏　名	ふりがな	所　属	生年月日	身長	出身中	出身地
1	青柳裕美	あおやなぎ　ゆみ	浦和実業高	1983.10.26	170	大増	埼玉県
12	宮本安沙美	みやもと　あさみ	明倫中学校	1984.5.15	165	———	福井県
16	樋口真央	ひぐち　まお	大蔵中学校	1984.7.9	159	———	兵庫県
2	花岡智子	はなおか　ともこ	四天王寺高	1984.1.4	151	大正東	大阪府
3	板野志保	いたの　しほ	徳山高校	1984.2.21	164	住吉	山口県
4	西銘奈奈子	にしめ　ななこ	那覇西高校	1983.7.7	171	神森	沖縄県
5	仲尾恵美子	なかお　えみこ	四天王寺高	1983.5.8	159	住吉第一	大阪府
6	大城麻美	おおしろ　あさみ	那覇西高校	1983.5.24	162	神森	沖縄県
7	北村恭子	きたむら　きょうこ	四天王寺高	1983.9.7	162	住吉第一	大阪府
8	南　春嘉	みなみ　はるか	四天王寺高	1983.5.28	170	住吉第一	大阪府
9	伊藤亜衣美	いとう　あいみ	暁高校	1983.5.7	167	北勢	三重県
10	上柳親子	かみやぎ　ちかこ	四天王寺高	1983.5.29	161	大正東	大阪府
11	小河内　愛	おがわち　あい	大分豊府高	1983.9.30	160	明野	大分県
13	山本菜津	やまもと　なつ	暁高校	1983.5.25	159	羽津	三重県
14	川上晴香	かわかみ　はるか	宣真高校	1983.4.22	162	南八下	大阪府
15	河崎由香利	かわさき　ゆかり	四天王寺高	1983.6.2	162	住吉第一	大阪府

▼1999年全日本男子U−16台湾遠征名簿 ——8月26〜30日

監　督	佐々木英明	ささき　ひであき	(財)日本ハンドボール協会強化委員
コーチ	玉村健次	たまむら　けんじ	〃
〃	逢坂静男	おおさか　しずお	大体大付中学校

選手	氏　名	ふりがな	所　属	生年月日	身長	出身中	出身地
1	久保宮　大	くぼみや　まさる	伊奈高校	1983.10.2	178	けやき台	茨城県
12	福島久修	ふくしま　ひさのぶ	愛知高校	1983.9.16	174	八幡	愛知県
2	東長濱秀作	ひがしながはま　しゅうさく	興南高校	1984.2.3	178	浦西	沖縄県
3	藤本靖雄	ふじもと　やすお	岩国工業高	1983.8.8	180	通津	山口県
4	小島康次	こじま　やすじ	桃山学院高	1983.5.23	178	市立岡東	大阪府
5	松山　徹	まつやま　とおる	此花学院高	1983.6.25	167	豊中第13	広島県
6	阿南優一	あなん　ゆういち	旭丘高校	1983.2.23	178	高杉	愛知県
7	大畑健雄	おおはた　たけお	高岡向陵高	1983.8.19	168	西条	富山県
8	地引貴志	じびき　たかし	伊奈高校	1983.5.20	180	けやき台	茨城県
9	榎本貴泰	えのもと　たかやす	浦和学院高	1983.7.14	172	蓮田	埼玉県
11	岸本彬伸	きしもと　あきのぶ	浦和学院高	1983.5.26	175	平群	奈良県
13	小川直宏	おがわ　なおひろ	瓊浦高校	1983.12.25	166	日吉	長崎県
14	田畑宏一	たばた　こういち	此花学院高	1983.9.27	171	市立岡東	大阪府
15	門山哲也	かどやま　てつや	浦和市立高	1983.10.22	180	吉川	埼玉県

「がんばれハンドボール10万人会」情報①

■パスカードとペアーチケットのご紹介

「がんばれハンドボール10万人会」には、特典の一つとして、グランド会員、特別会員に、日本リーグなど日本協会主催試合が無料で観戦できるパスカードが、また、ファミリー会員には、日本協会主催試合が一度だけですが、二人まで観戦できるペアーチケットを送付しております。

今回は、このパスカードとペアーチケットをご紹介致しますので、大会関係者の方々には、よろしくご配慮をお願いいたします。また、会員の皆様には、ぜひとも日本リーグをはじめとする各大会をご観戦いただき、大会を盛り上げていただくことをお願い致します。また、一人でも多くのハンドボールファンを作るため、ご友人などをお誘いいただき、10万人会の仲間を増やしていただきたいと願っております。

パスカードはグリーン地にハンドボール協会の「h」のマークを中央バックに入れ、右肩には新シンボルマークを配してあります。

ペアーチケットは、ややにぎやかなデザインになってはおりますが、ハンドボールのシュート場面を表のメインに据えております。

いずれもご使用にあたっては、カード、チケットにご署名をくださいますようお願い申し上げます。

「がんばれハンドボール10万人会」情報②

「がんばれハンドボール10万人会」では、会費の納入方法に信販会社を通じての、金融機関自動引き落とし制度を採用いたしました。このような制度は、珍しいものではなく各方面で会費の納入方法として用いられていることは、ご存じのことと思います。プロ野球や、Ｊリーグファンクラブでも各チームが採用しています。

この制度によるメリットは、まず会費納入の手間が省けることがあります。そのためにわざわざ時間を割くことがなく、費用と時間が節約できます。また、払い込み忘れといったようなトラブルも少なくなることもあります。

システムの定着、安定化までには少しの時間がかかるとは思われますが、軌道に乗れば上記のようなメリットが充分に生かせることと思います。

今回、業務委託を致しました、株式会社アプラスより、会社概要が提出されましたのでご紹介を致します。アプラスは、この業界では日本のトップ会社であり、最近は藤原紀香さんのコマーシャルでご存じの方も多いかと思います。日本ハンドボール協会とは、大和銀行を通じての関係があり、今回の業務委託になりましたことを付記しておきます。

株式会社アプラス　会社概要

［会社の沿革］

当社は昭和31年10月に大阪信用販売株式会社として設立されました。当初、大阪を初めとする近畿地区を中心にショッピングクレジット（個品あっせん）を主力とした営業活動を行ってまいりましたが、昭和47年に東京支店（現在の東京本部）を開設するとともに、全国展開を開始。その後、取扱業務もクレジットカード業、リース業務等順次拡大し、昭和51年には他の信販会社に先駆けて集金代行業務の取扱を開始いたしました。

昭和53年９月に社名を株式会社大信販とし、昭和56年11月に大阪証券取引所第２部に上場、昭和59年10月には同第１部に上場いたしました。平成４年４月には株式会社アプラスへ商号を変更し、現在に至っております。

［株主構成］

主要株主は、株式会社三和銀行や東洋信託銀行、さくら銀行、大和銀行、大同生命、日本生命などの大手金融機関であります。

［消費者信用業界と当社の位置づけ］

当社を取り巻く消費者信用産業は、新規供与額で76兆5,205億円の規模であり、前年度比1.2%の伸びを示しております(日本クレジット産業協会刊、日本の消費者信用統計'99年度版より)。その中で当社は、オリエントコーポレーション、日本信販などのいわゆる信販大手６社（その他㈱ジャックス、セントラルファイナンス㈱、㈱ライフ）の一角を占めております。直近の11年３月末の決算では、総資産は２兆354億75百万円の規模であり、営業状況については、取扱高は１兆3,696億29百万円で業界５位。通常の事業会社での売上高に当たる営業収益では、1,063億39百万円で業界４位であります。

［営業の概要］

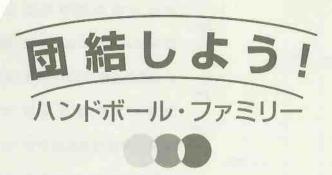
ショッピングクレジット(個品あっせん)、クレジットカード（総合あっせん）が主力でありますが、集金代行業務にも注力しており、取扱高は4,000億円を超え、毎年10%以上の伸びを示し、当社における主要な部門に成長しております。

なお、その他業務として、融資、リース、保証業務や保険代理店業務なども併せて取り扱っております。

［その他の会社概要］

1．本社、本部所在地
　本　　社：大阪市中央区南船場一丁目17番26号
　(本社事務所)：大阪市中央区南久宝寺町三丁目６番６号
　東京本部：東京都新宿区新小川町４番１号
2．営業店舗
　全国76カ店
3．正社員数
　1,984名
　＊上記は平成11年３月末現在です。

平成11年度から
新会員登録制度
スタート！

がんばれ ハンドボール 10万人会

少子化の影響などにより登録人口の減少傾向が各スポーツ界の大きな悩みになっています。昨今の経済不況も深刻さを増すばかりです。

今こそハンドボール・ファミリーが団結する時です。皆さんが自分のチームを愛するように、日本ハンドボールを愛して下さい。登録人口が増え、財源が大きくなれば、小・中学校の普及はもとより、ビーチ・マスターズ・車椅子ハンドボールの支援、ミニハンドボールの普及、また強化の根幹となるジュニア層の重点強化、そして各大会の補助金アップや国際大会の招致などにつながります。

皆さん1人ひとりが主役です。選手、審判、役員、OB、OGなどに限らず新たなサポーターも募り、全員参加のもとでメジャー化を図り、ハンドボール文化を構築しましょう。

財団法人　日本ハンドボール協会

〒150-8050　東京都渋谷区神南1-1-1　岸記念体育館内
TEL.03-3481-2361　FAX.03-3481-2367
http://www.handball.or.jp/

●HANDBALL　FAMILY

	年会費	主な特典
グランド会員	10.000円	日本協会機関誌（年11回） 日本協会主催大会無料パス 会員バッジ 日本協会認定グッズの割引
ファミリー会員	3.000円	日本協会主催大会無料ペア券1枚 会員バッジ 日本協会認定グッズの割引

■登録増によるメリット

- メジャースポーツとして認知
- 登録金の増収

- スポンサーがつく
- 全員参加意識の高揚

財源確保

各種事業への活用と充実
- ○小・中学校の普及
- ○ビーチ・マスターズ・車いすハンドの支援
- ○ミニハンドボール競技の導入
- ○ジュニア層の重点強化
- ○各大会の補助金アップ
- ○国際大会の招致
- ○一貫指導体制の確立

グランド会員、ファミリー会員への入会方法

所定の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、お申し込み下さい（郵送の場合は切手は必要ありません）。後日、日本ハンドボール協会から会員バッジなどをお送りします。年会費はご指定を受けた金融機関の口座から引き落としさせていただきます（ほとんどすべての金融機関でご利用できます）。

なお、申し込み用紙は、日本協会、各都道府県協会、または各全国連盟事務局にご請求下さい。

平成11年度全国高等学校総合体育大会

高松宮賜杯　第50回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

男子組み合わせ

A盛岡体育館
B盛岡第三高等学校体育館
C岩手高等学校体育館
D盛岡第一高等学校体育館
E盛岡第二高等学校体育館
F岩手大学体育館
G盛岡市アイスアリーナ

No.	学校名	都道府県
1	興南高等学校	沖縄
2	駿台甲府高等学校	山梨
3	県立添上高等学校	奈良
4	学校法人石川高等学校	福島
5	中越高等学校	新潟
6	県立池田高等学校	徳島
7	瓊浦高等学校	長崎
8	県立岩国工業高等学校	山口
9	県立湯沢高等学校	秋田
10	県立岐阜商業高等学校	岐阜
11	市川高等学校	千葉
12	高岡向陵高等学校	富山
13	県立不来方高等学校	岩手1
14	県立総社高等学校	岡山
15	県立高鍋高等学校	宮崎
16	県立二俣高等学校	静岡
17	府立洛北高等学校	京都
18	県立富岡高等学校	群馬
19	九州産業大学付属九州産業高等学校	福岡
20	県立東根工業高等学校	山形
21	県立伊奈高等学校	茨城
22	県立八日市高等学校	滋賀
23	土佐高等学校	高知
24	県立境高等学校	鳥取
25	育英高等学校	兵庫
26	県立青森高等学校	青森
27	県立新居浜工業高等学校	愛媛
28	金沢市立工業高等学校	石川
29	横浜商工高等学校	神奈川
30	県立神埼高等学校	佐賀
31	大分国際情報高等学校	大分
32	明星高等学校	東京
33	県立四日市工業高等学校	三重
34	県立広高等学校	広島
35	仙台商業高等学校	宮城
36	県立紀北農芸高等学校	和歌山
37	北海道函館工業高等学校	北海道
38	浦和学院高等学校	埼玉
39	県立高松商業高等学校	香川
40	県立盛岡第一高等学校	岩手2
41	長野県屋代高等学校	長野
42	県立加治木高等学校	鹿児島
43	國學院大学栃木高等学校	栃木
44	県立江津高等学校	島根
45	熊本市立商業高等学校	熊本
46	岡崎城西高等学校	愛知
47	北陸高等学校	福井
48	此花学院高等学校	大阪

- C1: 2 − 3
- C7: 1 − C1
- C2: 4 − 5
- C8: C2 − 6
- C13: C7 − C8
- C3: 8 − 9
- C9: 7 − C3
- C4: 10 − 11
- C10: C4 − 12
- C14: C9 − C10
- G1: C13 − C14
- C5: 14 − 15
- C11: 13 − C5
- C6: 16 − 17
- C12: C6 − 18
- C15: C11 − C12
- D1: 20 − 21
- D7: 19 − D1
- D2: 22 − 23
- D8: D2 − 24
- C16: D7 − D8
- G2: C15 − C16
- G7: G1 − G2
- D3: 26 − 27
- D9: 25 − D3
- D4: 28 − 29
- D10: D4 − 30
- D13: D9 − D10
- D5: 32 − 33
- D11: 31 − D5
- D6: 34 − 35
- D12: D6 − 36
- D14: D11 − D12
- G3: D13 − D14
- F1: 38 − 39
- F5: 37 − F1
- F2: 40 − 41
- F6: F2 − 42
- D15: F5 − F6
- F3: 44 − 45
- F7: 43 − F3
- F4: 46 − 47
- F8: F4 − 48
- D16: F7 − F8
- G4: D15 − D16
- G8: G3 − G4
- G10: G7 − G8

平成11年度全国高等学校総合体育大会

高松宮賜杯　第50回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

女子組み合わせ

A盛岡体育館
B盛岡第三高等学校体育館
C岩手高等学校体育館
D盛岡第一高等学校体育館
E盛岡第二高等学校体育館
F岩手大学体育館
G盛岡市アイスアリーナ

No.	学校名	都道府県
1	県立福井商業高等学校	福　井
2	筑紫女学園高等学校	福　岡
3	県立池田高等学校	徳　島
4	聖和学園高等学校	宮　城
5	県立水海道第二高等学校	茨　城
6	初芝橋本高等学校	和歌山
7	県立添上高等学校	奈　良
8	県立川崎北高等学校	神奈川
9	県立倉敷中央高等学校	岡　山
10	清水市立商業高等学校	静　岡
11	県立盛岡南高等学校	岩手2
12	県立鹿児島南高等学校	鹿児島
13	文化女子大学附属杉並高等学校	東　京
14	夙川学院高等学校	兵　庫
15	県立江津高等学校	島　根
16	北海道釧路西高等学校	北海道
17	県立大曲農業高等学校	秋　田
18	熊本国府高等学校	熊　本
19	日本大学山形高等学校	山　形
20	聖和女子学院高等学校	長　崎
21	県立高松商業高等学校	香　川
22	県立栃木商業高等学校	栃　木
23	県立益田高等学校	岐　阜
24	小松市立高等学校	石　川
25	四天王寺高等学校	大　阪
26	県立都城泉ヶ丘高等学校	宮　崎
27	暁高等学校	三　重
28	昭和学院高等学校	千　葉
29	県立岡豊高等学校	高　知
30	県立岩国商業高等学校	山　口
31	県立那覇西高等学校	沖　縄
32	県立盛岡第二高等学校	岩手1
33	県立山梨高等学校	山　梨
34	県立境高等学校	鳥　取
35	府立洛北高等学校	京　都
36	県立氷見高等学校	富　山
37	県立巻高等学校	新　潟
38	県立松山北高等学校	愛　媛
39	県立神埼清明高等学校	佐　賀
40	県立彦根翔陽高等学校	滋　賀
41	浦和実業学園高等学校	埼　玉
42	県立青森中央高等学校	青　森
43	県立大分鶴崎高等学校	大　分
44	県立郡山東高等学校	福　島
45	県立富岡東高等学校	群　馬
46	長野県屋代高等学校	長　野
47	山陽女子高等学校	広　島
48	桜花学園高等学校	愛　知

試合	対戦
A1	2 - 3
A7	1 - A1
A2	4 - 5
A8	A2 - 6
A13	A7 - A8
A3	8 - 9
A9	7 - A3
A4	10 - 11
A10	A4 - 12
A14	A9 - A10
A17	A13 - A14
A5	14 - 15
A11	13 - A5
A6	16 - 17
A12	A6 - 18
A15	A11 - A12
B1	20 - 21
B7	19 - B1
B2	22 - 23
B8	B2 - 24
A16	B7 - B8
A18	A15 - A16
G5	A17 - A18
B3	26 - 27
B9	25 - B3
B4	28 - 29
B10	B4 - 30
B13	B9 - B10
B5	32 - 33
B11	31 - B5
B6	34 - 35
B12	B6 - 36
B14	B11 - B12
A19	B13 - B14
E1	38 - 39
E5	37 - E1
E2	40 - 41
E6	E2 - 42
B15	E5 - E6
E3	44 - 45
E7	43 - E3
E4	46 - 47
E8	E4 - 48
B16	E7 - E8
A20	B15 - B16
G6	A19 - A20
G9	G5 - G6

❶ 行動コーディングシステムを用いたハンドボール競技におけるゲーム分析報告

■斉藤愼太郎、西山　哲成
柳　等、蒲生　晴明、西山　逸成

1．目的

ハンドボール競技においてゲームを制する為に必要とされる要素は多岐にわたる。その中でゲーム分析は、対戦チームの特徴を捉え、問題点を整理、検討しデータとして選手・スタッフが活用して戦略に用いることができる、重要な要素であるといえる。そこでゲーム分析に必要なスカウティングの方法の一つとして、即時的にゲーム分析を可能とする行動コーディングシステムを用いた方法により、相手チームの攻撃に関するデータの収集作業を行い、今後のゲーム分析におけるシステム化の参考にすることを目的とした。

2．データ収集の方法

1998年11月に、愛知県名古屋市で行われた'98ジャパンカップの全日本男子対オーストラリアチームのゲームを長時間多因子観察行動分析装置行動コーディングシステムPH—1001型（電気計測販売株式会社製）を用いてデータを収集した。データ収集作業者はデータ入力作業者2名、この入力者への音声による補助員1名（ゲームのルールを理解し、選手、ボールの動きを先読みできるもの）、コンピュータ画面上での入力確認の補助員1名の計4名で実施した。

データを入力する際、16項目入力可能な入力キーボックス2台に、必要とされる項目の割り振りを行った。1台目は、選手の背番号の割り当てに11ch、攻撃の開始及び終了に2 ch、ミス項目（パスミス等、ファールミス）に2 ch、ペナルティープレーに1 chとした。2台目はシュートコース（ゴール4分割：左上、左下、右上、右下）に4 ch、シュートポジション（A．B．C）に3 ch、シュートの種類（ポスト、カットイン、7 m）に3 ch、ゴールに1 ch、ノーゴール(GKセーブ、バーリバウンド、ブロック、アウト)に4 ch、タイムアウトに1 chとした。検者達のキー入力の練習は、先だって行われた全日本女子U—23対SVKの1試合にて実施した。入力されたデータは前半及び後半終了時にそれぞれプリントアウトした。

3．入力方法（図1）

A，攻撃側のシュートがゴールで終了した場合の入力パターン
1．攻撃開始
2．シュートコース
3．シュート位置
4．ゴール／非ゴール
5．選手背番号No.
6．攻撃終了

B，攻撃側のシュートがノーゴールで終了した場合の入力パターン
1．攻撃スタート
2．シュート位置
3．ノーゴールの種類（キーパーセーブ等）
4．選手背番号No.
5．攻撃終了

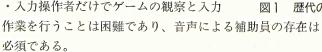
C，シュート以外の入力パターン
1．攻撃スタート
2．パスミス／ファウル
3．攻撃終了

攻撃時間（ボール所用時間）は、攻撃側のボール所有時点から防御側がボールを所有するまでの時間であり、そのトータルは1試合中の総攻撃時間を意味し、今回入力したキーで表すと攻撃スタートから(Aでは「シュートコース」、Bでは「シュート位置」、Cでは「パスミス」または「ファウル」)の入力時間までとした。

図—1　行動コーディングシステムによる出力様式

4．考察

今回のゲーム分析方法によるデータ収集の基本的な考え方は、相手チームの攻撃の最終局面を「いつ、どこで、誰が、何をした」かを記録すること及び、攻撃の時系列データを明らかにすることであった。実際の入力作業にあたり、以下の点が今後のハンドボール競技におけるゲーム分析のシステム化に伴う課題としてあげられる。

・入力操作者だけでゲームの観察と入力作業を行うことは困難であり、音声による補助員の存在は必須である。

・キー入力者が、押すキー項目を声に出して読みながら入力することにより、入力ミスも少なくなり、ミスがあっても他の検者にすぐに分かるので後に修正が可能となる。

・監督・コーチが必要／不必要な情報の検索と入力キーの配置、数、項目の修正作業が必要。

・ハーフタイムにプリント出力するための解析ソフトの導入→出力様式（図や表）の決定

身　長　　　体　重

図１　歴代の日本代表と世界強豪チームとの身長・体重比較（田中、1999）

表１　ポジション別形態水準（田中ら、1996）

ポジション	熊本世界選手権日本代表*			クンスト氏提案の許容値	
	人　数	身長(cm)	体重(kg)	身長(cm)	体重(kg)
Center Player	2	179.0	84.0	183-188	79-84
Back Court Player	5	190.1	88.9	190-200	85-95
Post Player	4	184.8	89.5	184-192	84-92
Side Player	6	180.6	79.6	183-188	79-83
Goal Keeper	2	187.9	94.8	188-199	84-93

＊1996年11月測定値

Ⅱ 外国選手と日本代表選手の体力比較

■田中　守

ハンドボール競技の日本代表チームが世界の桧舞台で活躍することを目標に、日本ハンドボール協会発足時（当初は東京オリンピックでの競技種目の採用と活躍を目標）からいくつかの取り組みがなされてきているが、外国チームとの比較で常に議論の中心になるのが体力差、とりわけ形態差とそれに伴うパワーの差である。

今回、このテーマに関するこれまでの報告書や文献を見る限り、常に同じことの繰り返しになっており、技術や戦術研究も含めてまだ強化対策の可能性が伺えてならない。ただ後述するが、世界選手権熊本大会での活躍を願ってオルソン氏を招聘し、新たな発想で実施した体力づくりは必見に値し、財産とすべきものであることを最初に強調しておきたい。なお、本稿では男子中心に検討した結果を述べたいと思う。

1．形態の年次推移

日本選手が外国選手に対し形態的に劣るのは周知のとおりであり、図１に示す過去のデータもそれを十分に物語っている。しかし、ロシア（旧ソ連）を除いてヨーロッパチームの身長の伸びが約７cmであるのに対し、日本チームの伸びは高度経済成長に伴って1960年代に一気に10cm、その後徐々に伸び世界選手権熊本大会ではさらに７cmほど伸び、外国チームとの身長差が数cmになっていることがわかる。もっとも、表１に示すクンスト氏提案のポジション別身長許容値からするといずれも下限かそれ以下ではある。

しかし、特筆すべきは体重である。かつての体重差が世界選手権熊本大会では見られず、図１に示すようにトップレベルに位置している点である。しかも、詳細な検討ではこの体重増加が筋肉増加によるところが多く、胸囲や上腕屈曲囲、大腿囲などもそれを物語り、外国選手に匹敵するものとなっている。高さが強調されるセンターディフェンダーやバックコートプレイヤーの身長差は否めないが、形態的には世界選手権熊本大会で外国選手にかなり近づいたことが断定できる。

2．機能の年次推移

一方、昔からスピード、跳躍パワー、敏捷性などは日本選手の方が若干優れていると言われているものの、外国選手と比較するにもそのデータに乏しく、また身長接触の激しいハンドボール競技ではこの特性が生かされていないのが実状である。従って、機能の中でさらに強調すべきが筋力と持久力である。

筋力は筋肉の横断面積に比例することから、かつては形態差から筋力にかなり劣っていたが、やはり世界選手権熊本大会ではその差もかなり肉迫していると言えよう。しかし、筋力×スピードで表され身体的接触時に発揮される力型パワーは、比較可能な客観的数値がないので断言できないが、主観的にはまだその差を感じている。即ち、その原因は身につけてきた筋力をスピードある動きの中で使う技術の差が示唆される。

持久力については、長距離選手的な有酸素性持久力は体力的基盤として必要であるが、現実的には数多い身体接触や双方の速攻によるスプリントを試合の最後まで如何に衰えることなく繰り返すことができるかが重要である。しかし、有酸素性持久力の指標である最大酸素摂取量も決して高いとは言えず、試合分析からも後半では日本チームの攻撃にサイドステップが多くなり前後の動きが少なくなっていることから持久力不足を示唆する報告もある。

3．オルソン元監督の体力づくり成果

これらの年次推移と日本選手の特徴から、オルソン元監督の実施した体力づくり成果は極めて評価に値するものと言える。蒲生前監督が1993年より積極的に取り組んだ筋力トレーニングも選手には布石になっているが、オルソン元監督は筋力トレーニングに１日４～６食約5000kcalの極端な栄養摂取を実践し、まさに外国選手に匹敵する体重増加＝筋肉増加を実践した訳である。ここで懸念されるのが、体重増加によるスピード、跳躍パワー、敏捷性の低下である。オルソン元監督のさらに評価すべき点は、日本選手のこの特徴をさらに生かすべくこの体力トレーニングをも重視したことである。そして試合期に向かっては、このスピードを間欠的に繰り返すインターバルトレーニングをも重視し、持久力も養成したことも加えておきたい。

4．今後の対策

では、さらに何が必要かである。かなり私見も入ってしまうが以下の点を指摘したい。

前にも少し触れたが、筋力や体重の増加がスピードプレーの中で発揮されて大きなパワーを発現する。さらに少しでも相手をかわす技術が伴えば、このパワーは絶大な力を発揮することになる。韓国の男子チームがソウルオリンピックで銀メダルを獲得したことは、その良い例である。従って第一点は、この肉弾戦を戦える技術トレーニングとそれを生かす戦術改革があげられよう。

次に、走スピードを間欠的に繰り返すインターバルトレーニングをも重視しながら、ミスの誘発を抑えるために速攻を戦術の武器にしなかったことは矛盾する点とも言える。従って第二点は、この肉弾戦を試合最後まで持続する持久力に加え、走り負けしない持久力をも養成し、得点効率の良い速攻を日本チームが武器にするか否かがあげられよう。

そして最後に、永遠の課題でもあろうが、日本人の中で形態的にも運動能力的にも高い選手を如何にたくさん小さい時からハンドボール界に入れるかという、選手発掘である。かつて、世界一のルーマニアチームの体力測定報告書に､｢日本人として最高の体型を示す陸上競技の投てき選手に近い体型」と記した文面、並びに日本の野球選手を見て、選手発掘の重要性が再認識されよう。

【参考文献】

・日本ハンドボール協会スポーツ医科学委員会（1960年度、1981年度、1984年度、1995年度、1996年度、1997年度）日本体育協会スポーツ医科学研究報告集

・Ioan Kunst（1990）Determinig factors for the futher developement of handball.第19回トレーナーシンポジューム報告書、110-121

・広田公一ら（1971）スウェーデンナショナルとの体力比較、ハンドボール、86：24-27

・広田公一ら（1971）昭和30年～昭和44年に至るハンドボール日本代表選手の体力の推移、ハンドボール、86：20-23

・樫塚正一（1982）第10回世界ハンドボール選手権に於ける身長形態の動向とハンドボール構造、武庫川女子大学紀要、30：15-22

・田中　守（1999）ハンドボール―発想の転換による体力づくりと体力測定・評価―、体育の科学49：印刷中

Ⅲ JOC球技系サポートプロジェクトの活動状況

■斉藤慎太郎

はじめに

「JOC球技系サポートプロジェクト」とは、JOCが日本の球技種目選手の競技水準がアジアや世界のトップ水準からかなり低いために“ゲーム分析”の実際的運用方法を確立し将来のチームづくりに必要な情報資料は言うに及ばず、試合中にでもスタッフに必要な情報を提供するための技法の研究を目的に設定され、５球技種目（バレーボール、バスケットボール、ラグビー、サッカー、ハンドボール）からコーチ、技術委員及び医科学委員から構成されている。

平成11年度の研究事業としてオーストラリアスポーツ協会―AIS（Australia Institute Sport）―においてゲーム分析の現況を研修した。

1．オーストラリア研修概要

⑴期間：平成11年３月10日（水）～16日（火）、於オーストラリア（キャンベラ）

⑵目的：AISにおけるゲーム分析活動及び分析システムを

調査し、今後の日本の球技スポーツの競技力向上に貢献すること。併せて同地で強化合宿を行っている日本代表ラグビーチームの分析活動の視察

(3)視察メンバー：和田一郎（サッカーU—19日本代表スタッフ）、小能武（バスケットボール日本代表スタッフ）、斉藤慎太郎（日本ハンドボール協会スポーツ医科学委員）

2．内容

(1)AISにおけるゲーム分析活動

キャンベラの東部に位置するAIS（Australia Institute Sport）は2000年のシドニーオリンピックに向けた選手の競技力向上のための各種の競技場及びトレーニング施設、研修や合宿のための宿泊施設等、充実した設備を備えたものであった。当日はAISのエージェントのマイク氏に施設内の案内、説明等の協力を依頼した。

この施設の中枢に18競技団体のofficialが集中しており、そこでは日本体育協会のような役割を果たしている。あいにくにくハンドボール競技に関しては普及率が低くこの18競技団体の中には含まれていなかった。またオーストラリア国内だけでなく外国からの競技者達がこの施設を利用している様子であった。競技場の施設だけでなく300人収容できる宿泊施設やスポーツ関連書物のある図書館、マルチメディアを利用できるコンピュータ室、ビデオ編集や観覧のできるビデオルームなど多岐にわたっていた。

当初の目的であった球技系のゲーム分析に関する点では、AISに所属する数名の専門のAnalistが当日いなかったため急遽、オーストラリアバレーボールナショナルチームのコーチにより、バレーボールのゲーム分析に関する説明とゲームのデータ処理について実際の操作などの説明を受けた。

彼らは、3種類のコンピュータを用い、いろいろなケースによって使い分けながらゲーム分析を行っていた。それぞれディスクトップ型、ノート型、もう1つは片手にのるぐらいのポータブルタイプのものであった。ディスクトップ型に入っている分析ソフトはAISの他の競技団体でも同様のものを使用しているところがいくつかありほとんど形式は同じようだ。また、ノート型のコンピュータには彼らがオリジナルで作成したバレーボールで必要な要素を集積したものが使用されているらしい。コーチである彼が1人でゲームの最中またはゲーム後にデータを入力し分析にあたっているとのことであった。そのため入力時間をできるだけ短縮するためにショートカットキーなど工夫が見られた。ポータブルコンピュータなどは非常に携帯に便利で、他国で使用しているところはバレーボールではまだないらしい。ソフトの制作は南オーストラリアのカンパニーが作っているものであった。これらのソフトすべてにおいて、共通して言えることはゲーム中または直後にデータを必要とする場合入力の慣れが重要であり、その為のトレーニングも必要であると感じた。

今後、日本におけるゲーム分析もより実用的でしかも各競技別の特性を考慮に入れたソフトの開発とそれを操作する専門家が必要となってくると考えられる。

(2)ラグビー日本代表チームの分析活動等について

同地で強化合宿を行っている日本代表ラグビーチームの練習、ミーティングに参加させてもらいその現場の様子を見学した。

国内合宿に比べ帯同できる人数に制限があるため、スカウティング班の人数が少なく、朽木氏（スカウティングアナリスト）1人で、ビデオ撮影からビデオの編集作業までをこなしていた。チームミーティングでは、チームの基本コンセプトの18key Word（チームの共通言語、共通目標）を毎回確認することから始まり、スタッフの視点から編集されたビデオについて選手同士のディスカッションが密度の濃いミーティングとなっていた。またビデオ画像もテロップやサウンドが挿入されており見ていて飽きさせないような工夫も織り込まれていた。—「心・技・体」に「知」も加えた強化—の推進が確実にステップアップしている感じがした。

ゲーム分析のハイテク化、多様化は各競技で着実に進んでいるが、基本はこれらの活動をいかにチームに、個人にフィードバックしていく組織を作っていくかがハンドボール競技におけるゲーム分析の今後の重要なポイントになっていくと思われる。これらの分析作業専門家の育成及びスタッフとしての参加を同時に進めていくことが必要なのではないかと感じた。

「球技の情報交換に期待」

企画・広報委員
早川　文司

フリースロー Free Throw

日本のスポーツ界は以前からセクト主義が強いと言われる。連携して行動を起こそうという掛け声は良く聞くが、なかなか前に進まないことが多かった。かつてのベルリンの壁ではないが、越えられない高い壁がそびえ立っていたことは間違いないところだ。

しかし、その高い壁が徐々に崩壊の兆しを見せてきたことは喜ばしい限りである。追い風になったのは、JOC（日本オリンピック委員会）の「球技サポートプロジェクト」本格活動である。

ここ10年前くらいから日本の球技の結果は誠に芳しくない。オリンピックを例に挙げても、アジアの壁を突破できないという歯ぎしり状態が続いているのは、寂しい限りだ。その最たるものがバレーボールかもしれないが、ハンドボールも以前に触れたが、そのオリンピックには縁遠くなってしまっている。それだけに来年のシドニー予選は、何としても勝ち抜いてもらいたい―と願わずにはいられない気持ちがいっそう募ってくる。

球技が再び多くのファンの注目を集めるには、結果を残すことが何より重要である。それには各競技団体が「垣根」を取り払って、相互の情報交換を図っていくことであろう。手を携えて復活にかけるとの意識改革が必要である。今回の「球技サポートプロジェクト」は、そういった従来の枠を取り払うきっかけになるものである。

７月17日、日本ハンドボール協会はバレーボールなどの強化担当者をパネラーに「ハンドボールフォーラム21」を開いた。詳しくは機関誌などに紹介されるだろうから、そちらをご覧いただくとして、このフォーラムもこうした壁を取り除き、交流、情報交換、ひいては共存を図るアクションの一つである。

今後、こうした企画が次々に開催されることを願うし、ハンドボール協会も積極的に参画していくべきである。他の競技団体の動き、強化策などを知ることにマイナスはない。参考になることがいっぱいあるはずだ。

「他人のふり見てわが身を―」の名言があるが、まさにそうではなかろうか。共通の悩みもあるだろう。互いに率直に話し合うことで共通理解が深まり、強化にプラスになることは間違いあるまい。JOCを核に危機脱出へしっかりと手を取り合っていくことは、「垣根」を乗り越える画期的な行動である。中途半端で終わらせては、せっかくのアイデアが泣いてしまうし、日本の球技の将来にいっそう不安を募らせることになる。

ANA CARD

ANAカードなら、旅の応援機能満載。
マイレージの楽しさも大きく広がります。

空港でも余裕の
チェックイン

出張先でのショッピングも
バックアップ

旅の安心。
保険もサポート

ホテルのご利用も
おトク倍増

航空券ご予約が、
スムーズアップ

ショッピングでマイルを貯めるならやっぱりANAカード!

お買物やお食事でもカードでしっかり貯めやすい

クレジット会社のポイントを100円=1マイルで貯められます。

一度で2倍貯まる「ショッピングアルファ」も充実

下記のお支払い内容なら、100円＝1マイルを自動的に加算。クレジット会社のポイントによるマイルと合わせて、100円=2マイルになるうれしいサービスです。

■対象商品・店舗

●国内全日空各支店、空港カウンターでの航空券のお求め、および機内販売 ●高島屋 ●日本石油SS ●出光SS

ANA　ANK エアーニッポン　髙島屋　NISSEKI　出光

さらにボーナスマイルで貯めやすさがアップ!

飛ぶたびに基本マイレージの15%(ワイドカードの場合。一般カードは5%)のボーナスマイル。また、毎年初めてのご搭乗時に3,000マイル(ワイドカードの場合。一般カードは1,000マイル)のボーナスマイルでおトクに貯まります。

今なら、一般カード初年度年会費無料サービス中です

今日からマイルが
貯められる
インスタントカード付き

お問い合わせ、入会申込書のご請求は、
フリーダイヤル 0120-029-707まで
[受付時間] 9:30～17:00(土・日・祝・年末年始を除く)
全日空各支店、空港カウンターにもございます。

列島縦断【京都府の巻】

ジュニアの少子化にメジャー化は期待できるのか

京都府ハンドボール協会副会長　小西　博喜

京都府協会は平成10年創立50周年を迎えたが、「50年史」編纂行事は目下準備を急ぐ課題である。

２巡目京都国体以後の活性化は全国小学生大会であり、京田辺市、八幡市、同志社大学の協力を得て全国的な普及のメジャー化を目指している。強化、普及の関わりは、表裏一体の舞台作りであり、リーダーシップを結集しなければ成果は上がらない。京都府ハンドボール協会（新）理事長藤本昇氏の今後の指導力と実行力に期待するところが大である。

●全国小学生大会

現在の少子化時代は、中・高校ハンドボール部の存続が危ぶまれる状況に追い込まれている。その中で、小学生普及対策をどの様に努力すればよいのか、この問題解決は日本ハンドボール界全体に課せられたハードルであるが、各都道府県協会に与えられた責任テーマでもある。スポーツ少年団の学童野球、サッカー少年団レベルにはずいぶん距離があるが、各都道府県協会役員の英知を結集した努力が必要であると思う。また、今日見られる問題の背景には、経済的な裏付けとなる公的支援がないことや、ジュニア層の指導者不足が影響しており、子供達、保護者達の夢がハッキリ見えてこないのが現状である。

さて、全国小学生大会は昭和63年２巡目の京都国体と同年度でスタートしたが、平成９年度第10回大会は、京都インターハイの関係で滋賀県協会の協力を得て長浜ドームで開催した。小学生大会の10年間を振り返って、全国47都道府県全参加が実現していない状況では、零細スポーツの域を脱していないというのが一般的な見方である。第１回大会男子参加数は15道府県、女子は13府県、第10回大会男子22都道府県、女子17府県であり、メジャー化の先がみえてこない。ご承知のように、今回の学習指導要領改訂にあたって、小学校の教科課程の中にハンドボールが教材として導入された（文部大臣告示平成10年12月14日）ことにより、京都府・市教育委員会への要請と理解を求めながら、小学校対象の講習会、研修会などを開催して指導者養成の現状打開に一石を投じたいと考えている。

●中学校

京都市・府中体連の活動は、今まで、京都市内の活動に限られていた時代もあったが、京都国体を契機に新しくチームが誕生し、小・中学校から中・高校への連携が深まりつつある。しかし、ここにも指導者不足が直接普及面に影響し、府下郡部地区全体の広がりにも波及している。また、中体連役員のみでは運営面で課題もあるが、杉山専門委員長を中心に競技レベル面では、僅かながら全国レベルに近づきつつあることは楽しみである。今、全国大会出場の小学生が中学校のＪＯＣカップに出場し、インターハイや国体で活躍することが、ジュニア育成の一貫した強化指導のモデルとして役立っており心強い。今後、更に努力を持続し、中体連独自の組織的な体力をつけることが課題である。

●高校

近年、全国大会の良い指導者のもとによい選手が集まり、全国上位に優秀な成果を収めていることは当然の結果であろう。しかし、強化面では女子洛北高校が４回の全国優勝を達成したその勝因は、常に新しいライバル候補を求め、挑戦意欲を燃やし、戦力分析を重ねて勝利へひたすら走る楠本監督の秘策によるところが大きい。今や全国高校屈指の指導者としてそのセンスは見習うべき点が多い。また普及面では、府下郡部全域にわたってチームの活動はしていない。活動するチームは、京都市周辺地域に集まっており、将来へつなぐ学校体育の指導者養成が急務の課題である。

●大学・一般

大学は創部50年を飾る京大、立命大、同大は京産大と並んで伝統をモットーとしている。過去オリンピック、ナショナルクラス、学生代表を日本ハンドボール界に輩出している。現在、男子10チーム、女子３チームが関西学連で活躍している。また、一般では社会人男子リーグ（１～３部）を開催し、生涯スポーツ推進の実績をあげている。特に教員男子は２回、教員女子は７回の全国制覇を成し遂げたのは見事である。しかし、竹芝精巧（株）の廃部は残念である。京都府協会は数多くの先人達の活躍を受けて、今後、国際都市としての国際大会の導入とマスコミを通してハンドボールのメジャー化を目指して邁進しなければならない。

●車いすハンドボール

全国に先駆けて京都国体後に開催された車いすハンドボールは、京都障害者スポーツ振興会と手作りで全国的規模の拡大を図ろうとしている。すでにマラソン、水泳、バスケット、卓球やウインタースポーツなど多くの競技で障害者スポーツはその裾野と競技レベルを上げている。残念ながらハンドボールは、その域に達せず全国大会の仲間入りができていない。願わくはＯＢ、役員が昔取った杵柄で車いすハンドボールの大会を開催していただきたい。その舞台作りは各都道府県に所在するスポーツ障害者協会あるいは振興会とのコンタクトが必要である。行政面での予算的な問題があるのでハンドボールの社会的位置付けや力強い人脈も必要となる。ヨーロッパでは五輪対策より生涯スポーツを重視する関係で、競技スポーツと生涯スポーツの「共生」が課題であり、現在、各都道府県協会に課せられた大きな使命であることもご理解願い、一日も早い実現を期待したい。

第7回大阪市・ハンブルグ友好都市ハンドボール大会

大阪市ハンドボール連盟理事長　山中善之祐

本年度は、大阪市と自由ハンザ都市ハンブルグとの友好都市提携10周年記念行事の一つとして第7回のハンドボール交流試合を大阪市ハンドボール連盟が開催しました。

このハンドボール部門の交流は92年の春にハンブルグを訪問した大阪市サッカーチーム（1回で中止）の代表が持ち帰った大阪市宛の親書により、大阪市スポーツ課から問い合わせがあり、検討の結果93年より当連盟と大阪社会人連盟で受け入れ実施開催（隔年持ち回りで）する運びになりました。交流は両都市市民の交流で、ハンブルグ協会、大阪市連盟（大阪社会人連盟）の所属チーム、または、所属チームよりの選抜選手が中心で運営実施されています。大会は大阪市、市体協からの補助金を基に参加選手の拠出金で運営し、まさに選手、市民の手作りの大会で、多くの問題を抱えながらも、それを克服、解決しながら実施しています。ハンブルグでは有力な個人スポンサーがいるようでうらやましいです。過去においては大会、ゲームばかりでなく技術練習、審判技術研修、ビッグゲーム観戦なども行っています。98年には日程の都合で学生選抜がハンブルグ協会50周年行事に参加しました。

【交流】

本年度はイエンス・カブーゼ団長以下31名のハンドボールチームを迎え親善試合を行いました。一行は99年5月30日に来阪し、6月11日の離阪までの13日間に男女各5試合（計10試合：日程、結果は後掲）と、児童・女性のハンドボール教室とマスターズを加えたハンブルグチームとの交流ゲームを、大阪市が目指す「スポーツパラダイス大阪」の理念（するスポーツ、スポーツで交流）により行いました。

ハンドボール教室に参加した小学生、特別参加の女子高校生は日本と違った練習方法に感銘し、熱心にノートをとり今後の練習に役立てようとしていましたし、それを見ていたハンブルグの選手には感動を与えたようです。

するスポーツ（生涯スポーツ）としてのマスターズとの交流試合での感動、交歓試合後ハンブルグ役員も熱く燃えてゲームを追加延長するほどでした。また、社会人選抜女子にはママさん選手が多く参加し、特に親子参加出場（清水千佳子（?）大阪体大卒・麻世（16）高校生）の選手が見られました。うれしいことですね！

ハンブルグチームは歓迎会の帰りに立ち寄った居酒屋が、社長が光島氏の教え子ということでサービスしてくれたのが気に入り、連日のドイツ流パーティーの開催となりました。堺在住の選手、役員も参加し、時には一般市民をも巻き込んでの交流会となり親善が図られました。

【試合結果】

◇5／31（月）舞洲アリーナ
［女子］社会人選抜 10（2-21 8-25）46 ハンブルグ
［男子］社会人選抜 18（8-13 10-14）27 ハンブルグ
◇6／2（水）舞洲アリーナ
［女子］金曜クラブ 18（10-16 8-16）32 ハンブルグ
［男子］金曜クラブ 8（5-15 3-20）35 ハンブルグ
◇6／4（金）京都大学体育館
［女子］京都女子選抜 19（6-16 13-18）34 ハンブルグ
［男子］全京都大学 8（6-13 2-13）26 ハンブルグ
◇6／7（月）舞洲アリーナ
［女子］大阪体育大学 18（7-13 11-8）21 ハンブルグ
［男子］ソシオ 20（8-15 12-14）29 ハンブルグ
◇6／9（水）舞洲アリーナ
［女子］武庫川女子大学 25（14-16 11-11）27 ハンブルグ
［男子］千里関大クラブ 23（12-17 11-18）35 ハンブルグ

【まとめ】

ハンブルグ女子には15～19才の選手が5名参加していましたが、4～5才からハンドボールに馴染んでいるので11～12才で始めた日本選手とはゲームに対する感覚の違いを痛切に感じ日本協会の今後、小学生に対する指導方法、取り組みに期待します。

この交流大会は、行政の補助と参加選手の拠出金で運営している手作り大会で、資金面、運営面でも様々な困難、問題点を抱えています。しかしながら、暫時解決しながら今後も市民の大会として継続実施していきます。ご希望でしたら、大阪市外でも足を延ばして遠征いたします。93年には広島、95年には高知、99年には京都に足を延ばしました。2000年には大阪市男女選抜がハンブルグに遠征します。4月末出発、5月下旬帰阪予定です。ご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

連載⑤ 世界の技術・戦術を学ぶ

—World Handball Magazine—

指導委員会

4月号からの連載は、「世界の技術・戦術を学ぶ」と題して、IHFより発行されるWorld Handball Magazineのなかの技術練習として取り上げられている部分を、指導委員会を中心に多くの情報担当者の協力を得て訳していただきそれを構成して多くのハンドボール関係者のみなさまへ情報を提供しようとするものであります。

今月号と来月号は「1996年のアトランタオリンピックでも攻撃戦術の発展について」の報告であります。世界のトップチームのシステム化された防御に対して、対戦チームがそれをうち破るための攻撃戦術の代表的なものを分析したものです。攻撃・防御戦術の基本的な考え方とその実践での応用を説明しておりますので大変参考となることと思います。

この連載の中におけるポジションの表記に関しては、基本的には参考図に示すドイツ語表記を利用いたします。

（指導委員会　笹 倉 清 則）

指導委員会・情報担当
笹　倉　清　則（日本女子体育大学）

オリンピック男子のゲーム分析より【攻撃の発展】

Dietrich　Spate

変化に富み、そして活動的な防御活動—これは、1995年のアイスランドでの男子世界選手権大会の分析からの結論である。このハンドボールの将来の発展に関する重要な傾向は、1996年のアトランタオリンピックに関しても適応できる。そこでもまた、アトランタと同様に以下のような防御戦術の発展が観察された。

■基本的な原則として活動的、柔軟性に富みそして創造的な防御プレイ

■一試合の経過の中で、しばしば基本的な防御システムと1～2のシステムを交代する

■複合的な防御システム（5：0＋1、4：0＋2など）

■極端に攻撃的なマンツーマン防御の変化：特にヨーロッパチームによるもの

これらの防御戦術における発展の基礎は、特にアトランタオリンピックにおいて興味深いものであった。それは、このような異なった防御システムに対応したどのような攻撃システムが、将来見いだされるかという点である。

以下のものは、いろいろな防御システムに対して、選び出したいくつかのチームの成功した攻撃システムの構想を紹介するものである。1995年の世界選手権大会と1996年のオリンピックを比較してまず第一の結果は、「攻撃プレイが発展した！」である。

スウェーデンの6：0防御に対しての攻撃

◎スウェーデンの防御の仕方（写真1）

スウェーデンは、アトランタオリンピックにおいてよく知られている6：0防御を用いた。その基本的な動きは以下のような規則正しい動きによるものである。

—攻撃的な防御のセンター防御プレイヤー

—むしろ半積極的な対応する中間防御（45）プレイヤー

—とりわけボール保持ゾーンへのカバープレイヤーとしてのサイドプレイヤー（写真1参照）

この写真は、左45（RL）がボールを持ったときの典型的な防御隊形を示している。

中央への突破の動きが予測されると、右センター防御プレイヤー（IR-Wislander）は左45（RL）に対して積極的に攻める、その間45防御（HR-Olsson）がポストプレイヤーを守る。左センター防御プレイヤー（IL）は、まず第一にポストプレイヤーの中央への走りに備えてカバーする。サイド防御プレイヤー（AL）は、自分のマークであるサイド攻撃プレイヤー（RA）を“自由にさせる”、そして同様により中央へボールカバーのために位置する。それによって彼は、その位置で例えば次の素早いパスもしくは右45（RR）へのロングパスをフォローする。その場合は、数的な有利な状況が生まれる。

写真2は、同じくオリンピック決勝のクロアチア戦のものである。そこでは、スウェーデンの6：0防御が活動的にそして攻撃的に対応していることが認められる。ここでは、例えば防御プレイヤーHR（Olsson右45）がセンタープレイヤー（RM）からボールを奪おうとしている。そのとき彼は、本来のマークすべき相手の左45（RL）をほおっておく。ここでも多くのチームの防御原則を観察することができる。

■ボールのあるところでは徹底的に数的優位をつくる！

例1、クロアチア：クロスとブロック

最初の例は、クロアチアの攻撃方法である。これは決勝のスウェーデン戦の1：1となったプレイであり、スウェ

写真1

写真2

写真3

写真4

写真A-1

写真A-2

写真A-3

写真A-4

ーデンの6：0防御に対するクロアチアの重要で典型的な攻撃を記述している。

センター（RM）らのクロス―センター（RM）は素早く前方への動きでコート中央へ走り込んでくる右45（RR）にパスをする―その間にポストプレイヤーはセンター防御プレイヤーに対して基本的なブロックを仕掛ける。(図1と写真3）センター（RM）はすぐに右のポストのポジションに位置取りし、そこで右45防御プレイヤー（HL）からマークされる。(2：4攻撃への移行)明らかに今、両センター防御プレイヤーの後方に大きな攻撃空間が認められる。右45（RR）はジャンプシュートの体勢から（ゴールを脅かすように)、左45（RL）へパスをする。

左45（RL）は、1：1のフェイントの動きから後方へスライドして移動を開始する―防御の動きの方向と逆に―同時にポストプレイヤー(KM)は右センター防御プレイヤー（IR）に対してブロックの位置にはいる。この間にセンター（RM）は、今は誰もいないRRのポジションへ移動する。(後に続く3：3攻撃への戻しを伴った見せかけの2：4攻撃)

両センター防御プレイヤーは、まず第一に右45RR(今センターRMのポジションにいる）へのパスを奪うことを試みる―もはや今、同時にポストプレイヤーを守ることはできない。明らかに、左へのパラレルカットインの可能性が認められる。

例2、後に続くプレイのバリエーションのきっかけとしてのボールなしでのクロス

クロアチアは、後半も引き続き前半に成功した攻撃戦略で攻撃した。

スウェーデンの6：0防御に対してブロックと結びつけた、さらに有効なクロスの動きを使った。写真Aは19：12の場面を示している。センター（RM）から右45の（RR）へのパスの後（写真1と2）センター（RM）と左45（RL）はボールなしでクロスする。左45（RL）はセンターのポジションめがけ走り込む、そして右45の（RR）からボールを受け取る（写真2）。これらの“きっかけ”の動きによって一連のいろいろな連係プレイが生まれる。例えば、左45と右45との2度目のクロスなどである。

左45（RL）は左45のポジションにいるセンター（RM）へのパスを選んだ(写真3)。続いて今度はパラレルカットインの為の後方への動きを開始する(写真4)。センター防御者IRに対してポスト(KM)のブロックが明らかに認められる、そのブロックから左45のポジションのセンタープレイヤー（RM）からセンターにいる右45（RL）へのパスの

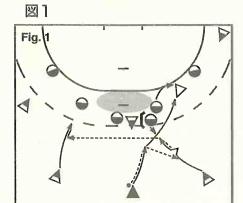
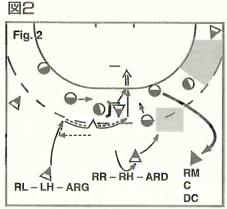
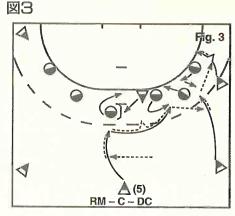
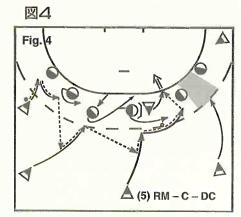
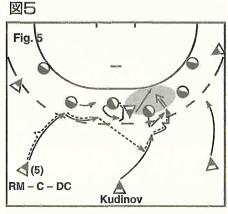
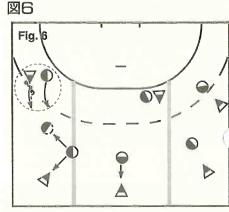
図1

図2

図3

図4

図5

図6

あとまさに大きな攻撃チャンスが生まれる。しかしながらセンター（RM）はこれらのパラレルカットインの攻撃を、すでに右45のポジションからの成功確率の高いシュートをすることで終えた。考えられることは、センターへのパスである。同時にポストは両センターの間にブロックとして位置しているために（連続写真Aの4）、ここでより効果的な攻撃チャンスが生まれる。

例3、ロシアのずらしとブロック

ロシアは組織化された攻撃を速いテンポでプレイする世界のトップに君臨するチームである。ロシアの選手たちは同時に、1：1の状況での個人プレイのバリエーションを意のままにできるために、彼らの攻撃方法は、しばしばダイナミックなポジションプレイに"限定"される。しかしながら、いかなる場合にも成功の鍵は、成功率の高いブロックをするポストにかかっている。

これは、ひとつの例である。

■スウェーデンに対して、しばしば見られる適切な両センター防御者に対してのブロックがしかけられた。センター（RM）の1：1の動きと同時にポスト（KM）は右側の中間防御者に対してブロックの状態に入る。センター（RM）は、ドリブルを使って利き腕方向へ大きく走り込み、左センター防御者のILを突破することができる。右45（RR）へのパスの後—彼は右利きである—彼は右サイド防御者に向かって走り込む。素早いバウンドパスにより右サイド（RA）はフリーな状況になる。

■他の戦術的原則は、図4に認めることができる（スウェーデン戦の4：6のシュート場面）。左45（RL）は大きくコート中央へ走り込む、そしてスウェーデン防御の典型的な動きとしてのセンター防御者の積極的な防御を誘発する。そのために、コート右側に数的優位な関係が生まれる。同時にポスト（KM）はセンター防御者のILに付加的なブロックをしかける、それによって、コートの右側で相手の防御の行為に応じて、いろいろな攻撃に最終局面が生まれてくる。

■しばしばセンター（RM）と左45（RL）はポジションを交代する、その結果センターのポジションでシュートチャンスが生まれる。センター（RM）はダイナミックな1：1のプレイによって次に続く攻撃を準備する。同時にポスト（KM）はセンター防御者のIRにブロックをしかける。センターのポジションから走り込んでくる左45（RL）へのパスによってセンター防御者のILは攻撃的に防御しなければならない。ポスト（KM）は防御空間のフリーなところへ走り込む、なぜならセンター防御者IRは左45（RL）のポジションから走り込んでくるセンター（RM）に導き出されるからである。ここで再び、新しい異なった攻撃方法が考えることが可能になる。（スウェーデン戦の8：9の得点）

■連続写真Bは、同様にロシアチームの完璧なパラレルカットインを示したものである。

—右45（RL）は、センター（RM）へのバウンドパスにより攻撃的な防御をするIRを抜く（写真1と2）。

—センター（RM）は45防御者のHRを攻め、そして左手で左45（RL）へパスをする（写真3）。

—左45（RL）は右45防御者とサイド防御者の間を攻める、そしてバウンドパスをすることで左サイド（LA）をフリーにすることができる（連続写真4と5）。

ここで再び重要なことは、ポスト（KM）のセンター防御者へのブロックである。

写真B-1

写真B-2

写真B-3

写真B-4

写真B-5

写真C-1

写真C-2

写真C-3

写真D-1

写真D-2

写真D-3

写真D-4

アルジェリアの マンツーマン防御に対しての攻撃

◎アルジェリアのマンツーマン防御（連続写真C、図6参照）

—6～9mの間の空間でのプレイヤーに対するマークのような、密着したボール保持者に対するマーク（連続写真Cの1）。

—サイドの攻撃ゾーンでボールを保持し、サイドライン方向へ動くプレイヤーは、密着マークされ、そして攻められる。

—ここで、中央へコントロールされていないパスをさせるように強いるべきである、そうすれば、チームメイトによってボールを奪うことができる。

—しばしば、この空間においてボール保持者に対してプレッシャーが増すように2人の防御プレイヤーによって防御される（図6）。

—ボールを持っていない中央のプレイヤーは、"孤立した状態"でマークされる（連続写真Cの1）。

このようなマンツーマン防御に対しては、とりわけヨーロッパのチームは過去の問題として既に効果的な攻撃方法を持っている。アトランタオリンピックにおいて、とりわけフランスチームによって大変興味ある攻撃方法が観察された。

図7-a

図7-b

図7-c

図8-a

図8-b

図9-a

図9-b

例1、フランス：デープパス（深いパス）

連続写真Cは第一の可能性を示している：センター(RM)は、攻撃の組立局面にセンターラインやや後方から前方へ自由に走り込んでくるポスト(KM)に長いパスをする。この時、このパスは前兆がなく不意打ちの状態でパスされることが重要となる。なぜなら防御者はしょっちゅう手を動かしながら防御するため、パスはブロックされたりインターセプトされるからである。

例2、フランス：中央でのダブルパス（壁パス）

図７ａ―７ｃにおいてフランスのアルジェリアのマンツーマン防御に対する戦術的基本構想を確認することができる。

■出発点は、センター(RM)の６～９ｍの空間へのポジション移動である(図７ａ)。マンツーマン防御者は、いっしょについていくために、今はコート中央に自由な攻撃空間ができる。

■けれどもセンター(RM)は、直ちにポストのポジションから再び中央のゴールから10～12mのところへ戻り、そしてダブルパス（壁パス）のできる状態になる（図７ｂ）。

■はじめの一つ目の可能性は、図７ｃに示してある：センター（RM）は右45（RR）とのリターンパスのふりをする。右45（RR）の防御者は、センター（RM）がボールキャッチしたときは引き戻される。そこでセンター(RM)は意表をついて右へ走り出す。そしてそこに攻撃側の得点チャンスが生まれる。

図８ａと８ｂは、同一の基本的原則がみとめられる：ここでは、センター（RM）のポジション移動（図８ａ）の後に、ポスト(KM)がダブルパスをもらう状態になる(図８ｂ)。右45 (RR)はボールなしで外側へ走り込み、そしてポスト（KM）からパスを受け取る。

図９ａと９ｂも、同一の基本的原則がみとめられる：今度は、右サイド(RA)がコート中央へ走り込んでくる、そしてセンター(RM)からのパスの態勢を整える。左45(RL)へのリターンパスの後、センター(RM)はポストのポジションへ走り込む。この状況は、センター(RM)と左45(RL)とのクロスによって、攻撃側の大きなチャンスが生まれる。

連続写真Ｄは、いかにこのフランスの攻撃戦術が多彩に変化しているかを示している：連続写真Ｄは、左45(RL)が、コート中央へ走り込む（連続写真１と２)、そして右45（RR）からのパスの準備をする。右45（RR）はボールなしでコートの外側のフリーな空間へ走り出し、左45(RL)からリターンパスを受け取る。彼は、いま明らかに攻撃チャンスを得た。

各試合7,000円　税・送料別（送料は何巻でも500円）

1997年11月、ハンドボール発祥の地、ドイツで熱狂の観衆のなか繰り広げられた第13回女子ハンドボール世界選手権。デンマークの優勝で幕となったが、アジアの代表として登場した日本はもちろん、韓国、中国も思いっきりの熱いプレーを見せてくれた。

そのうちの熱戦20試合が、スカイ・Aで放映されたが、そのままのクリーンな映像を、編集にあたった株式会社メイスンがハンドボールファンにお届けする。

見た人も見られなかった人も、最新のハンドボール情報を目の当たりにするチャンス。本場の熱狂を肌で感じられるだけでも興奮のビデオだ。1本からでも受け付けている。

■協賛／財団法人日本ハンドボール協会、日本ハンドボールリーグ機構　■制作協力／株式会社スポーツイベント

品番	対戦	解説	時間
◆予選リーグ			
WH 1	日本 vs オーストリア	池本　聡氏（ジャスコ監督）	70分
WH 2	中国 vs デンマーク	池本　聡氏（ジャスコ監督）	75分
WH 3	日本 vs ブラジル	平塚一彦氏（シャトレーゼ監督）	70分
WH 4	中国 vs チェコ	平塚一彦氏（シャトレーゼ監督）	75分
WH 5	日本 vs アンゴラ	緒方嗣雄氏（日本協会強化委員）	75分
WH 6	中国 vs ロシア	緒方嗣雄氏（日本協会強化委員）	65分
WH 7	韓国 vs ルーマニア	金原　至氏（立山アルミ監督）	70分
WH 8	日本 vs ポーランド	金原　至氏（立山アルミ監督）	70分
◆決勝トーナメント・1回戦			
WH 9	フランス vs ポーランド	矢内　浩氏（大崎電気女子監督）	70分
WH10	韓国 vs チェコ	矢内　浩氏（大崎電気女子監督）	70分
WH11	ルーマニア vs マケドニア	荷川取義浩氏（北國銀行監督）	110分
WH12	ドイツ vs ベラルーシ	荷川取義浩氏（北國銀行監督）	75分
WH13	デンマーク vs ハンガリー	伊藤宏幸氏（全日本女子監督）	75分
WH14	ロシア vs コートジボアール	伊藤宏幸氏（全日本女子監督）	75分
◆決勝トーナメント・2回戦			
WH15	ドイツ vs マケドニア	西窪勝広氏（オムロン監督）	70分
WH16	ポーランド vs ロシア	西窪勝広氏（オムロン監督）	70分
◆準決勝			
WH17	ドイツ vs ノルウェー	林　五卿氏（イズミ監督）	75分
◆5位決定戦			
WH18	韓国 vs クロアチア	林　五卿氏（イズミ監督）	90分
◆3位決定戦			
WH19	ドイツ vs ロシア	樫塚正一氏（前全日本女子監督）	75分
◆決勝			
WH20	ノルウェー vs デンマーク	樫塚正一氏（前全日本女子監督）	75分

実況アナウンス　池本弘三氏（フリー）

■支払方法
現金書留、郵便振替、または銀行振込による前払いです。まずはお電話ください。

●お問い合わせ、ご注文は

☎03-3542-2135／Fax 03-3542-2107

MAYSON Co.,LTD.　〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目18番16号　株式会社 メイスン

WHM購読体験レポート

皆さんはワールドハンドボールマガジン(以下、WHM)という雑誌をご存知ですか？

国際ハンドボール連盟(以下、IHF)が年４回発行しているオフィシャルマガジンです。ハンドボールに関する世界中の話題が満載、また、IHFからの情報発信のツールとして世界中に配信される雑誌です。内容は英語、ドイツ語、フランス語の併記で紹介されています。私も話には聞いておりましたが、実物は見たことがありませんでした。ひょんなことから、購読申し込みをすることになりましたので、もし購読してみたいという方がいらっしゃればと思い、レポートを作成することに致しました。ご参考になれば幸いです。

はじめに簡単に経過を説明しますと…

・６月７日(月)申し込み書を入手
・６月８日(火)IHFへFAXを送付
・６月14日(月)WHM到着
・７月６日(火)送金手続き(勤め先の近辺に銀行がないため、遅くなってしまいました)

なんと、申し込みのFAXを送付してからわずか１週間足らずで、最新号が自宅に送付されてきました。これには驚き。後は支払いをすれば、これから２年間(計８冊)WHMが自宅に送られてきます(正確には送られてくるはずです)。以下、手順の詳細をご紹介します。

１.申し込み書の入手

私の場合、WHMに印刷されている申し込み書のコピーを機関誌編集委員会の方から郵送していただきました。このページでもご紹介しますので、ご使用ください。

２.申し込み書の記入

名前、住所を記入します。もちろんローマ字。注意点は、CITYの欄には「市」名を記入するのではなく、「都道府県」名を記入すること、その後に郵便番号、COUNTRY欄にJAPANと忘れずに記入することです。

３.申し込み書のＦＡＸ

FAX番号は申し込み書に記載されています。最初「41」は国番号でスイスを表します。従って、国際通話の001(KDD)または0061(IDC)の後に、記載されているFAXナンバーに発信すればOKです。

これで申し込みは完了です。後はWHMが送られてくるのを待つだけです。最初にWHMと一緒に送られてきたのは、いわゆる送付状です。この送付状に支払先の口座、金額などが記載されています。従って、銀行で所定の用紙に必要事項を記入の上、送金するとすべて完了です。

４.送金

銀行の窓口は(海外)送金窓口。ここで「海外送金取組依頼書」に記入します。この依頼書は行員に言って貰わなければいけないようです。ここでいくつか注意事項。

１)印鑑と、本人であることを証明するもの(運転免許証など)が必要です。
２)銀行によっては口座を開設していないと海外送金を扱ってくれない銀行があります(ちなみに私は口座を開設していないＳ銀行で冷たく断られました。口座を開設しているＦ銀行では「そんなことはない」と言っていました)。
３)送金方法には「電信送金」「普通送金」があります。手数料と到着までの時間が異なるようです。この手数料は依頼人(送金者)の負担となります。
４)スイスフランの単位として「CHF」で請求がきますが、日本では「SFR」の方が一般的のようです。
５)「支払銀行手数料」という欄があります。これは受取人が送金先の銀行から送金を受け取る際に発生する可能性のある手数料だそうで、私は迷わず「受取人負担」としました。

さて、この依頼書に送金種類、送金金額、依頼人(自分)の住所、氏名(日、英)を記入の上、押印します。次に銀行名、口座番号、所在国名、受取人名前、住所及び送金目的を記入します。この用紙とお金100CHF(約8,000円)と手数料を窓口に提出します。手続きは約15分、海外送金取組依頼書控(銀行によって名称は異る)と計算書を受け取って完了です。

さあ、これで今日からあなたもWHMの読者、世界中のハンドボールの話題・情報が入手できます。これを読まずしてハンドボールを語る事なかれ！

Ich abonniere / I hereby wish to subscribe to / Je souscris au

WORLD HANDBALL MAGAZINE

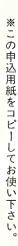
Preis für 2 Jahre / Price for two years / Prix pour 2 ans : 100,- CHF (8 Ausgaben/issues/éditions)

Name und Vorname / Last name and first name / Nom et prénom

Straße und Hausnummer / Street and house number / Rue et numéro

Wohnort / City / Ville　　　Land / Country / Pays

Datum / Date / Date　　　Unterschrift / Signature / Signature

Please return this subscription form to :
Internationale Handball Federation
Postfach 312, CH-4020 Basel / Schweiz
Fax ..41-61-2721344

平成11年度競技用具検定業者公示

平成11年度ハンドボール競技用具検定業者の一覧を公示致します。

皆様ご存知のとおり、ハンドボール競技に使用する競技用具は、日本ハンドボール協会競技用具検定規程に、「競技の公平性、普遍性、安全性のために用具を検定し、競技の普及、発展に資する」とし、「競技用具は、協会の検定を受けたものでなければならない」としています。また、第2条に「大会管理者は、競技用具が検定済の用具であることを確認しなければならない」としています。

平成11年度現在、日本協会が認定している業者は、ボールが2社、ゴールネットが8社、ゴールが12社となっております。残念なことに、本年度はボール業者のタチカラが現在の経済状況により、検定業者から撤退致しました。日本協会としては一日も早く業績が回復し、検定業者に復帰していただくことを願っております。

新たな参入としては、モルテンがゴールネット、ゴールの業者として認可されております。さらには新たな業者の打診もあります。

日本ハンドボール協会の検定業者のリストを掲載致しますので、用具の購入の際は検定業者の用具を購入していただくようお願いします。

検定業者一覧表

1999年6月17日現在

社　名	〒	住　所	TEL
【ボール】			
株式会社モルテン	130－0003	東京都墨田区横川5－5－7	03－3625－7581
明星ゴム工業株式会社	733－0002	広島市西区楠木町3－11－2	082－237－5145
【ネット】			
テイエヌネット株式会社	136－0071	東京都江東区亀戸4－45－15	03－3637－3232
松本製網株式会社	581－0843	大阪府八尾市福万寺町4－72	0729－22－3217
株式会社アシックス	650－0046	兵庫県神戸市中央区港島中町7－1－1	078－303－3333
高須賀株式会社	136－0071	東京都江東区亀戸3－43－24	03－3684－7791
株式会社寺西喜商店	581－0842	大阪府八尾市福万寺町4－31	0729－97－1300
有限会社ミセキネット製作所	340－0115	埼玉県幸手市幸手町中1－7－4	048－042－0379
鐘屋産業株式会社	581－0834	大阪府大阪市八尾区萱振町3－18	0729－96－5656
株式会社モルテン	130－0003	東京都墨田区横川5－5－7	03－3625－7581
【ゴール】			
イノコ株式会社	454－0011	愛知県名古屋市中川区山王4－6－34	052－331－3311
株式会社都村製作所	766－0004	香川県仲多郡琴平榎井590	0877－73－2251
栗林体器株式会社	877－0071	大分県日田市玉川町69	0973－22－5151
三和体育製販株式会社	332－0027	埼玉県川口市緑町9－15	048－255－6121
合名会社上坂鉄工所	131－0004	東京都墨田区本所4－28－8	03－3622－8171
株式会社小川長春館	721－0924	広島県福山市引野町5－4－23	0849－41－0230
株式会社舟岡製作所	130－0011	東京都墨田区石原4－34－2	03－3624－0551
セノー株式会社	140－0013	東京都品川区南品川2－2－13	03－5461－4111
株式会社中村体育	386－0016	長野県上田市国分仁王堂1190－4	0268－22－0896
株式会社藤栄	340－0022	埼玉県草加市瀬崎町649－4	0489－32－1211
株式会社ニシオカ	558－0041	大阪府大阪市住吉区南住吉3－17－5	06－693－5756
株式会社モルテン	130－0003	東京都墨田区横川5－5－7	03－3625－7581

男子42回・女子26回　全日本教職員ハンドボール選手権大会組合せ

日程　平成11年8月10日～13日　会場　山口県徳山市

男子組合せ

【予選リーグA】

A	神奈川	千　葉	岡　山	愛　知
リ リ オ 神 奈 川				
千葉教員				
岡山教員				
愛知教員				

【予選リーグB】

B	福　岡	神奈川G	埼　玉	山　口
福岡教員				
リ リ オ 神奈川G				
埼玉教員 ク ラ ブ				
山　口 教員団				

女子組合せ

【予選リーグa】

a	かながわ	大　阪	愛　媛
かながわ ガビアーノ			
大阪教員 ハンドボールチーム			
愛媛ハンドボール クラブ			

【予選リーグb】

b	京　都	愛　知	山　口	埼　玉
京都教員 ク ラ ブ				
愛知教員 WINS				
山口クラブ				
埼玉教員 白 小 鳩				

男子決勝トーナメント

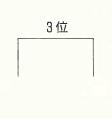
決勝

A1位　B2位　A2位　B1位

3位

女子決勝トーナメント

決勝

a1位　b1位

3位

※マスターズ大会の組み合せは大会前日、会議において決定する。

第１回全日本ビーチハンドボール選手権大会組合せ

●平成11年８月６日～８日　●千葉県・安房郡富浦町原岡海岸

aリーグ

	チ　ー　ム　名	1	2	3
1	BEACH-BOYS'99A（東京）	＼		
2	国際武道大学（千葉）		＼	
3	多摩クラブ（東京）			＼

bリーグ

	チ　ー　ム　名	1	2	3
1	秋田大学（秋田）	＼		
2	桜門クラブ（東京）		＼	
3	美少女１００％（東京）			＼

cリーグ

	チ　ー　ム　名	1	2	3
1	オール千葉（千葉）	＼		
2	南クラブ（埼玉）		＼	
3	土浦三高クラブ（茨城）			＼

★順位リーグは予選リーグの１位、２位、３位がそれぞれグループに分かれリーグ戦を行う。

第３回全国ビーチハンドボールフェスティバルさざ波大会

◎フレンドシップ男子の部
予選リーグ

（ア）リーグ
桜門クラブ（東京）
T．E．C．（千葉）
東海学連クラブ（愛知）

（イ）リーグ
麻生フェニックス（茨城）
ももやき（埼玉）
日大明誠ＯＢ（東京）

（ウ）リーグ
ＢＥＡＣＨ−ＢＯＹＳ’99Ｂ（東京）
マイナーズ（茨城）
Ｔｈｅ ｓｕｎ ｌａｗ（大阪）

（エ）リーグ
ＣＵＨＣＯ零（愛知）
千葉明徳短期大学（千葉）
海自第１護衛隊群（神奈川）

（オ）リーグ
麻生フェニックス
ＣＵＨＣＯ壱（愛知）
細谷財閥（神奈川）

（カ）リーグ
千葉県ビーチハンドボール普及委員会（千葉）
カンダハーヤング（千葉）
チャクドン（東京）

（キ）リーグ
多摩ドリーム（神奈川）
双龍会（埼玉）
ＫＡＧＲＡ（東京）

◎フレンドシップ女子の部
予選リーグ

（あ）リーグ
ふじのクラブ（東京）
ＳＵＮ−ＦＩＷＥＲ（千葉）
成田北高校（千葉）

（い）リーグ
麻生フェニックス（茨城）
ｌａ−Ｖｉｃｔｏｉｒｅ（高知）
県立泉高校（千葉）

（う）リーグ
永谷高校（神奈川）
千葉明徳短期大学（千葉）
ドリーム（東京）

（え）リーグ
ＣＵＨＣＯ弐（愛知）
柏陵クラブ（千葉）
ジャイコス（神奈川）

（お）リーグ
ＣＵＨＣＯ参（愛知）
千葉明徳キャンデーズ（千葉）
セブンウェーブ（東京）

（か）リーグ
千葉明徳Ｂ･ＢＲＥＡＫＥＲＳ（千葉）
ＣＣＨ−ＧＩＲＬＳ（千葉）
昭薬セルフィッシュチーム（東京）

（き）リーグ
美少女１００％（東京）
ＶＲＩＳＥ（千葉）
ドキンちゃん（神奈川）

日本協会新グッズの紹介

日本協会では、機関誌6月号でもご紹介致しましたとおり、ハンドボールの21世紀に向かっての発展を期するための新シンボルマークを制定致しました。

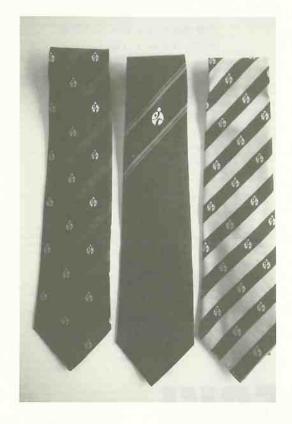
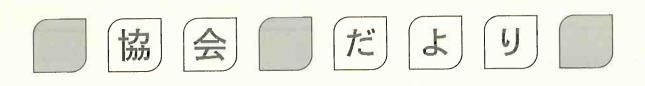
この新シンボルマークを利用しての、日本協会グッズを製作致しましたのでご紹介致します。また、シンボルマークは、新会員制度の会員バッチにも利用しております。

まずネクタイのご紹介を致します。ネクタイは3種類を作成致しました。それぞれのデザインは、色が出ませんが写真にてご紹介する通りです。左は、主にレフェリー用のネクタイとして作成されました。ブルーのラインにシンボルマークが白色で配置されています。真ん中は、先に制定致しました日本協会役員用ユニフォームに合わせた、黒地に赤のラインとシンボルマークをデザインしたものです。右は、ゴールドカラーのストライプにシンボルマークが配置されております。それぞれ1本ずつの購入も可能ですが、3本セットでの価格も設定しておりますので、ご利用をお願い致します。

次に、ボタンをご紹介します。ボタンは2種類を製作しております。一つは、これも日本協会役員用ユニフォームに合わせたデザインを考えております。二つ目は、紺のブレザーをイメージして作られており、シンボルマークはゴールドカラーになっております。ボタンは、いずれも桐箱に入っています。

価格は、それぞれ会員価格が設定されており、「がんばれハンドボール10万人会」会員、登録役員など、ご利用に便宜を図っております。それぞれの価格は表に示す通りです。

お申し込みは、日本協会事務局までお願い致します。

	(審判)従来価格	(審判)特別価格	一般価格	会員価格
日本協会ネクタイ	5,000円	4,500円	5,000円	4,500円
ネクタイ3本セット			13,000円	11,000円
日本協会ボタン(役員用)			5,000円	4,500円
日本協会ボタン(一般用)	5,000円	4,500円	5,000円	4,500円

平成11年6月常務理事会

日　時：6月12日　11：00〜12：30
場　所：東京体育館　第3研修室
出席者：中澤副会長、市原専務理事
常務理事7名、理事1名
監事1名、事務局2名

1. 平成10年度事業報告について

各事業本部長より、平成10年度事業報告があり、承認した。

2. 平成10年度決算報告について

一般会計収入について、事業収入の増収があったことを含め、収入合計が報告された。

一般会計支出について、追加事業を含め、報告があった。

特別会計について報告があり、監事より監査の結果、適正妥当であるとの報告がなされた。また、公認会計士による監査においても収支適正の報告があり、承認した。

3. シンボルマーク使用内規及び会員バッチの決定について

シンボルマーク使用内規、及び会員バッチについて承認した。

4. 評議員の一部変更について

三重県協会より提出された評議員の変更について承認した。

京都府協会からの、評議員の変更に対する意向について、申請書の提出をもって追認することとした。

5. その他

(1) JOC主催のシドニーオリンピック合同調査会の実施に伴う派遣役員について、強化部に人選を一任した。

(2) デサントの協賛について、オフィシャルサプライヤー契約を承認した。

【報告事項】

1. がんばれ10万人会推進本部報告

5月末現在の都道府県別会員数の報告があり、推進本部での検討事項について報告がなされた。

今後の活動について本部長より、新しい会員を開拓するために、登録者以外の人の加入を促進する、過去の国体スタッフ、全日本OB・OGなどの、名簿の作成を各連盟等に協力依頼する、各都道府県・ブロックに新しい会員の発掘について指導及び協力依頼する、各大会におけるセレモニーで日本協会役員による主旨説明及び協力依頼をするなどの方針が報告された。

2. タチカラボールの検定業者撤退について

同社より検定業者を辞退申請の報告があり、承認した。

3. ハンドボールフォーラム21について

総合研修会の進め方について報告。参加人員、参加費、懇親会について報告。

4. 氷見市からの激励金について

氷見市ふれあいスポーツセンター竣工記念大会に参加した全日本選手に対して、氷見市より激励金を戴いた報告。

5. IHFより2001年新競技規則への変更に向けて、テストについてアンケート依頼があり、IHFへ提出する事の報告。

お知らせ

10月度（9月16日）より、日本協会事務局・事務所は毎週土曜日は休日となります。電話等の取り次ぎはできません。ご了承下さい。平日の業務は9時30分から18時までです。

●8月の行事予定

●8月1～7日
■第50回全国高校選手権大会
　岩手県盛岡市・アイスアリーナ他
●8月6～8日
■第7回マスターズ大会
　山口県・下関市総合体育館
■第1回全日本ビーチハンドボール大会
　千葉県・安房郡富浦町原岡海岸
■第26回全国高等専門学校選手権大会
　高知県・春野総合運動公園体育館
●8月7～10日
■第4回ジャパンオープントーナメント
　富山県・氷見総合体育館他
●8月9～13日
■第42回全日本教職員大会
　山口県・徳山市総合体育館
●8月20～22日
■第7回東日本小学生大会
　山形県・東根市民体育館
●8月22～25日
■第28回全国中学校大会
　真島総合スポーツアリーナ
　(ホワイトリンク)
●8月25～30日
■第7回日・韓・中ジュニア交流競技大会
　広島県・東区スポーツセンター

●求職情報①

私の名前はSejfulovski Predrag、27歳でユーゴスラビアのノビサド出身です。身長186cm、体重86kg。

以前はVojvodinaのMetaloplastikaクラブでプレーをし、現在はマケドニアのPrespa Jafaでプレーをしています。Prespa Jafaは97／98チャンピオンリーグに出場し、98／99はIHFカップに出場、97／98のマケドニアカップでは優勝しました。

●求職情報②

以下が私のハンドボール経歴です。
Marek Poz
25歳、身長181cm、体重82kg。

私は17歳の時にスウェーデン1部リーグのHK Cliffで初めてプレーをして以来、常に同じチームでプレーをしてきました。その間、約200試合に参加し（約600ゴール）、25歳ながらチーム内で最も多くの試合に出た一人でした。1997年にキャプテンとなり、同じ年、22歳でチームのベストプレーイヤーに選ばれました。

私はトッププレーヤーとしてもプレーするポストプレーヤーです。私の特徴は優れたディフェンダーであり、ターンオーバー（ボール保持が変わる）時に、速攻プレーをすることです。

国際的な経験はあまりありませんが、1992年に（チーム最年少で）U—19でヨーロッパ選手権に出場しました。

「お詫びと訂正」

第40回全日本実業団選手権大会
　女子ベストセブンGK浅井友可里選手の所属先が「日立栃木」とありましたが「立山アルミ」の誤りでした訂正致します。

HAND BALL CONTENTS AUG

柔らかな感触で、最適なバウンド!

新発売

PKCH3-AD DX
5,500円

new

PKCH2-AD DX
5,400円

PKCH1-ADJ
3,600円

手縫い・国際公認球

KCH3-AD
4,600円

PKCH2-AD
4,500円

PKCH2-ADR
2,700円

PKCH3-ADR
2,800円

(財)日本ハンドボール協会編 『ハンドボール』 第三九九号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
平成十一年七月二十六日印刷 平成十一年八月一日発行
東京都渋谷区神南一―一―一
電話 代表 三四八一―二三六一
振替 〇〇一二〇―七―一〇二九三
編集兼発行人 市原則之
価格は登録金に含む